

# MODUS H11

---

取扱説明書

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。




ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


## ■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

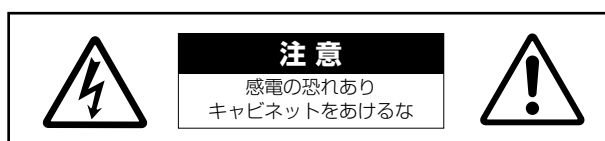
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	-----------	---

	<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	-----------	--

## ■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。」

## 警告

### 電源 / 電源コード



電源は必ず交流100Vを使用する。  
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。  
他の電源コード/プラグを使用すると、発熱や感電の原因になります。

必ず実行



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。  
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

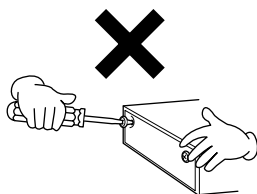
禁止

### 分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、けが、または故障の原因になります。

禁止



### 水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。  
また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

禁止

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

禁止

### 火に注意



本体の上にとろうそくなど火気のあるものを置かない。  
とろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

### 異常に気づいたら



電源コード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。  
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

必ず実行

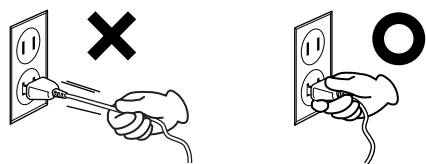
## 注意

### 電源 / 電源コード



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行



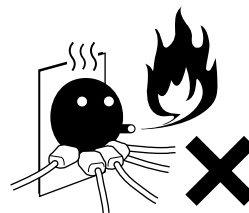
長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電や火災、故障の原因になることがあります。

必ず実行



たこ足配線をしない。  
音質が悪化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



## 組み立て



必ず実行

組み立てる前に、必ず本書の組み立て方の説明をよくお読みください。  
手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

## 設置



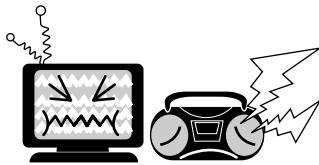
禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。  
本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。  
楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。  
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。  
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

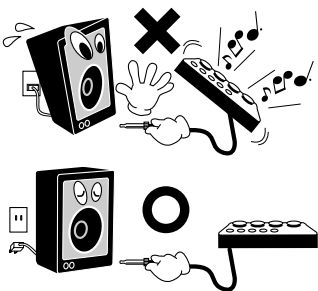
この機器を電源コンセントの近くに設置する。  
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。  
感電または機器の損傷の原因になることがあります。



## 手入れ



必ず実行

本体のほこりや汚れは、柔らかい布で軽く拭き取る。  
強く拭くと、ほこりの粒子で本体の表面に傷がつく場合があります。



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。  
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。



必ず実行

水滴がついたらすぐに拭きとる  
極端に湿度が変化すると、本体表面に水滴がつく（結露する）ことがあります。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。

## 使用時の注意



禁止

キーカバーやふたで指などはさまないように注意する。また、キーカバーや本体のすき間に手や指を入れない。  
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

キーカバーやパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。  
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。  
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



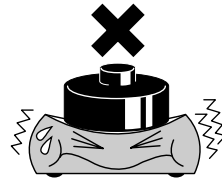
禁止

本体の表面に金属、陶器、その他硬い物を当てない。  
表面にひびが入ったり、剥がれたりする場合があります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



## イス



禁止

不安定な場所に置かない。

イスが転倒して、お客様や他の方々がけがをする原因になります。



禁止

イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。

このイスは楽器演奏用です。イスを遊び道具や踏み台にすると、イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。



禁止

イスには二人以上ですわらない。

イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。



必ず実行

イスのネジを定期的に締め直す。

イスを長期間使用すると、イスのネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



必ず実行

イスの脚で床やたたみを傷つけないよう注意する。

イスの脚でフローリングの床やたたみを傷つけることがあります。イスの下にマットを敷くなどして、床やたたみを保護されることをおすすめします。



禁止

イスを手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。

変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。

## データの保存

### 作成したデータの保存とバックアップ



必ず実行

一部のデータは、本体内部のメモリーに保存されます（44 ページ）。電源を切っても消えずに残ります。本体に保存されたデータの万一の事故に備えて、大切なデータはバックアップとしてUSB フラッシュメモリーに保存することをおすすめします（45 ページ）。

### USB記憶装置のバックアップ



必ず実行

保存したUSB記憶装置の万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSB記憶装置のバックアップとして保存されることをおすすめします。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

\* この製品は、JIS C 61000-3-2 に適合しています。

### 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

このたびは、ヤマハデジタルピアノ H11 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。H11 の優れた機能を十分に生かして演奏をお楽しみいただくため、本書をお読みください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

# 取扱説明書について

この取扱説明書は、以下のように構成されています。

## 本書

- |   |   |                      |
|---|---|----------------------|
| 準 | 備 | 最初にお読みください。          |
| 本 | 編 | H11 の使い方を詳しく説明しています。 |
| 付 | 録 | 「仕様一覧」などの資料を掲載しています。 |

## クイックオペレーションガイド

ボタンや鍵盤に割り当てられた機能の操作を詳しく説明しています。

### 表記上の決まり

[ ]..... パネル上にあるボタン類を示します。たとえば、ボリュームのスライダーは、文章中で  
マスターボリューム  
[MASTER VOLUME] スライダーと表記します。

※ この取扱説明書に掲載されているイラストやディスプレイは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

この製品は、ヤマハ（株）が著作権を有する著作物やヤマハ（株）が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVE データ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ（株）の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

## ロゴについて



ヤマハによって考案された音源フォーマットで、音色数やエディット方式、エフェクトに関するパラメーターなどを規定し、GM 規格を大幅に拡張したものです。XG に対応した音源機器や市販データ曲集には、XG ロゴマークがついています。



「GM システムレベル 1」に対し同時発音数、音色数、音色パラメーター、エフェクトなどの機能を拡張して規定することにより、曲データの更なる互換性を向上させることが可能な一定の基準です。「GM システムレベル 2」に準拠した音源やソングデータには、この GM2 マークがついています。



「GS」とは、ローランド株式会社の音源フォーマットです。ヤマハの XG フォーマットと同様、GM の仕様に加え、音色セットやドラムセットの拡張、音色の修正、エフェクトなどの拡張機能を規定しています。

この製品には、XG フォーマット以外の音楽 / サウンドデータを扱う機能があります。その際、元のデータをこの楽器に最適化して動作させるため、オリジナルデータ（音楽 / サウンドデータ）制作者の意図どおりには再生されない場合があります。ご了承ください。

ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用时には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

**AVE-TCP®** 本製品はTCP/IPプロトコルスタック技術として、株式会社ACCESSのAVE-TCP®を搭載しています。  
Copyright© 1986-2008 ACCESS CO., LTD.

**AVE®-SSL** 本製品は暗号モジュール技術として、株式会社ACCESSのAVE®-SSLを搭載しています。  
Copyright© 1997-2008 ACCESS CO., LTD.

**ACCESS™**

- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMED) の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

## 付属品(お確かめください)

- ・ 保証書
- ・ 取扱説明書(本書)
- ・ クイックオペレーションガイド(別冊)
- ・ 電源コード
- ・ ユーザー登録のご案内\*

\*ユーザー登録の際に必要なプロダクトIDが記載されています。

### ■ 調律について

調律は必要ありません。

### ■ お引越しの際は

通常の荷物と一緒に運びいただけます。組み立てた状態でも、組み立てる前の部品に分解した状態でも問題ありませんが、本体は立てかけたりせず、必ず水平に置いてお運びください。また、大きな振動、衝撃を与えないでください。組み立てた状態でお運びいただいた場合は、設置の際、各部のネジのゆるみを確認し、ゆるんでいる場合は締め直してください。

# 特長

## スタイリッシュな薄型デジタルピアノ

お部屋のインテリア空間を彩るスタイリッシュな薄型デジタルピアノです。

## 自然な弾き心地を実現したナチュラルウッド (NW) 鍵盤 象牙調仕上げ〈ホワイト〉

象牙調仕上げ鍵盤は、象牙に近い適度な吸湿性があるので、指が滑りにくく、しなやかなタッチ感が得られます。また、鍵盤の色も外観に調和するよう仕上げてあります。

白鍵にはアコースティックピアノの鍵盤と同様に木材を使用しているため、従来の電子ピアノを越えるグランドピアノのような重量感のある弾き心地を楽しめます。

グランドピアノと同様に、ペダルを踏まずに音をつなげる奏法や高速の同音連打も可能です。

## 自動演奏鍵盤

ピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50 曲、USB フラッシュメモリーに保存した曲、およびインターネット上の曲などのソング再生に合わせ鍵盤が動くので、目でも演奏が楽しめます。自宅ではもちろんのこと、レストランなどパブリックスペースでの自動演奏ピアノとしても適しています。

## AWM ダイナミックステレオサンプリング

H11 は、ヤマハ独自のサンプリング音源システム「AWM ダイナミックステレオサンプリング」による豊かな音色を備えた電子ピアノです。グランドピアノ 1 と 2 の音色は、フルコンサートグランドピアノからサンプリングしました。グランドピアノ 1 の音色では、鍵盤を弾く強さに応じて複数の波形をサンプリングしており (ダイナミックサンプリング)、さらに、ダンパーペダルを踏んだときの響板や弦の共鳴音をサンプリングした「サステインサンプリング」、鍵盤を離れたときの微妙な発音をサンプリングした「キーオフサンプリング」を採用し、ぜいたくな音作りを行なっています。

## インターネットダイレクト接続機能

専用サイトのストリーミングサービスを利用することにより、さまざまなジャンルのソング(曲データ)を再生させ、BGM として聞くことができます。



# 目次

## 準備

取扱説明書について	6
付属品（お確かめください）	7
特長	8
目次	9
各部の名称と機能	10
鍵盤名	12
この楽器のしくみ	13
ご使用前の準備	14
・キーカバーと屋根を開ける	14
・キーカバーと屋根を閉じる	14
・電源コードを接続する	15
・電源を入れる	15
・音量（ボリューム）を調節する	15
・ヘッドフォン（別売）を使う場合	16
・譜面板（別売）を使う場合	16
・楽器本体のバージョンを確認する	16

## 本編

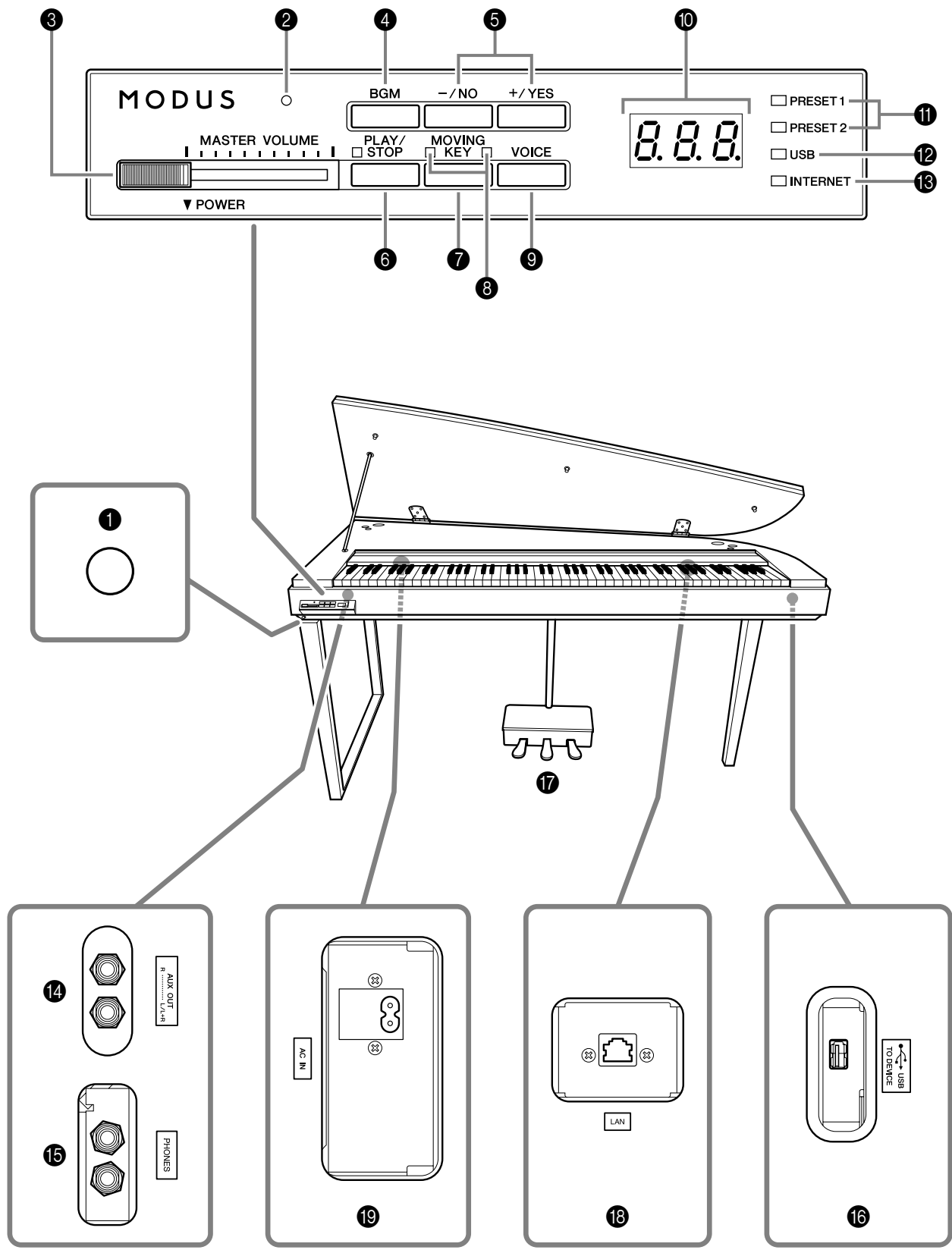
ピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50 曲（プリセットソング）を聞く	17
・自動演奏鍵盤を鑑賞する	19
USB フラッシュメモリー内の曲を聞く	20
USB 記憶装置の取り扱いについて	22
フロッピーディスクの取り扱いについて	23
メディア（USB 機器）を初期化する	24
インターネットの曲を聞く	25
・XG のピアノボイスに差し替える （ソングオートリボイスの解除）	26
音色を楽しむ	27
・音色を選ぶ	27
・ペダルを使う	28
・2 つの音色を重ねる（デュアル）	29
・音色の設定を保存する	30
・音に残響を付ける（リバーブ）	31
・キー（調）を変える（トランスポーズ）	31
・音の高さの微調整をする（チューニング）	32
・タッチ感を変える（タッチ）	32

インターネットダイレクト接続機能	33
・楽器をインターネットに接続する準備	33
・楽器をインターネットに接続する	35
・インターネット設定について	36
・無線 LAN の電波強度を表示する （USB 無線 LAN アダプターをお使いの場合）	38
・接続情報ファイルを書き出す	39
・インターネット設定を初期化する	40
・インターネット 初期設定一覧	40
・インターネット用語集	41
外部機器との接続	43
・端子について	43
データのバックアップ	44
・内部メモリーにバックアップする	44
・内部メモリーを初期化する	44
・USB フラッシュメモリーに バックアップする	45
・データをリストアする	46
困ったときは	47

## 付録

ピアノリスニングソング (Classic&Jazz) 50 曲一覧	48
初期設定一覧	50
メッセージ一覧	51
別売品の紹介	52
仕様	53
組み立て	54
索引	58

# 各部の名称と機能



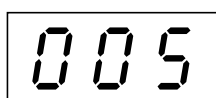
本体底面

- ① [POWER] <sup>パワー</sup>スイッチ..... 15 ページ  
電源のオン/オフを切り替えます。
- ② 電源ランプ..... 15 ページ  
電源がオンのときに点灯します。
- ③ [MASTER VOLUME] <sup>マスターボリューム</sup>スライダー ..... 15 ページ  
音量を調節できます。
- ④ [BGM] <sup>ビージーエム</sup>ボタン ..... 17、20、25 ページ  
BGM モードの [PRESET 1]/[PRESET 2]/[USB]/[INTERNET]/ オフを切り替えます。詳しくは、「この楽器のしくみ」(13 ページ) を参照してください。
- ⑤ [- /NO] / [ + /YES] <sup>ノ</sup>ボタン  
音色や曲、項目を選んだり、数値を設定したりできます。
- ⑥ [PLAY/STOP] <sup>プレイ/ストップ</sup>ボタン..... 18、21、25 ページ  
ピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50 曲、USB フラッシュメモリーに保存した曲、およびインターネット上の曲などのソング再生をスタートしたり、ストップしたりします。
- ⑦ [MOVING KEY] <sup>ムービングキー</sup>ボタン ..... 19 ページ  
ピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50 曲、USB フラッシュメモリーに保存した曲、およびインターネット上の曲などのソング再生に合わせ鍵盤が自動に動きます。
- ⑧ [MOVING KEY] <sup>ムービングキー</sup>ステータスランプ..... 19 ページ  
自動演奏鍵盤の有効時は白い LED、自動演奏鍵盤の動作中に異常が発生したときは赤い LED が点灯します。
- ⑨ [VOICE] <sup>ボイス</sup>ボタン ..... 27 ページ  
グランドピアノをはじめとした 10 種類の音色からひとつの音色を選択できます。(27 ページ) また、2 つの音色を重ねて使ったり (29 ページ)、リバーブの種類を選んだり (31 ページ) できます。

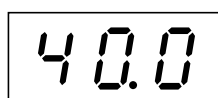
- ⑩ ディスプレイ ..... 11 ページ  
操作に応じて、さまざまな情報が表示されます。状況によっては、何も表示されていない場合もあります。
- ⊘ 画面に「--」が順番に表示されているとき(データアクセス中)は、電源を切らないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ⑪ [PRESET 1]/[PRESET 2] <sup>プリセット</sup>ランプ..... 17 ページ  
ピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50 曲 (プリセットソング) を聞くときに点灯させます。
- ⑫ [USB] <sup>ユーエスビー</sup>ランプ..... 20 ページ  
USB フラッシュメモリー内の曲を聞くときに点灯させます。USB フラッシュメモリーを読み込み中は点滅します。
- ⊘ 点滅中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ⑬ [INTERNET] <sup>インターネット</sup>ランプ..... 25 ページ  
インターネットの曲を聞くときに点灯させます。インターネット通信中は点滅します。
- ⑭ AUX OUT [L/L+R] [R] <sup>エーユーエックスアウト</sup>端子..... 43 ページ  
楽器本体の音を外部オーディオ機器から出したり、カセットテープレコーダーなどを接続して、ご自身の演奏を録音したりできます。
- ⑮ [PHONES] <sup>フォーンズ</sup>端子 ..... 16 ページ  
ヘッドフォンを接続できます。
- ⑯ USB [TO DEVICE] <sup>ユーエスビー トゥーデバイス</sup>端子..... 43 ページ  
USB フラッシュメモリーを接続して、USB フラッシュメモリーに入っているデータを楽器本体で再生したりできます。
- ⑰ ペダル..... 28 ページ  
ピアノ演奏に使います。
- ⑱ [LAN] <sup>ラン</sup>端子..... 33、43 ページ  
楽器をインターネットに接続して、専用サイトのストリーミングサービスを利用することにより、さまざまなジャンルのソング (曲データ) を再生させ、BGM として聞くことができます。
- ⑲ [AC IN] <sup>エーシーイン</sup>端子 ..... 15 ページ  
電源コードを接続するときにプラグを差し込みます。

## ディスプレイ

- ・操作の結果をパネルのディスプレイで確認しながら進めてください。
- ・場面に応じて、たとえば下記のような表示になります。

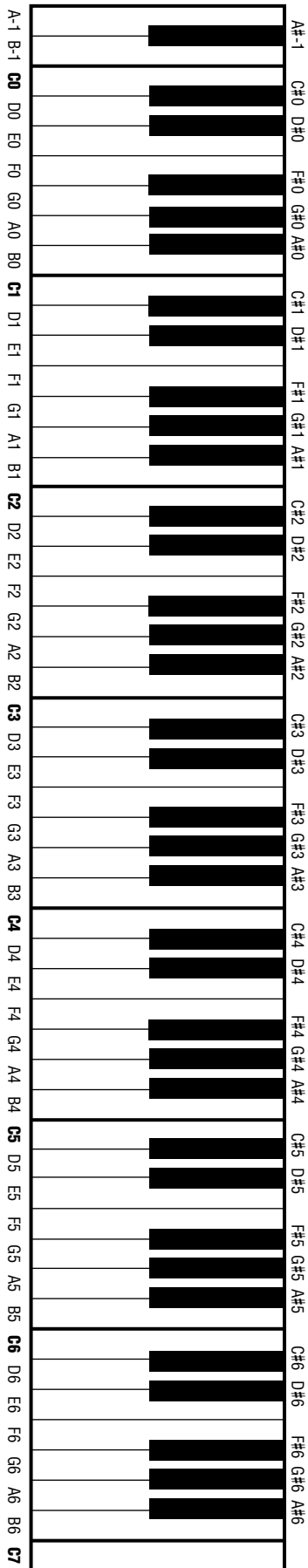


ピアノ リスニング ソング  
(Classic&Jazz)50 曲の曲番号



各種設定値

# 鍵盤名



# この楽器のしくみ

ビージーエム

BGM オン/オフを切り替え、さまざまな機能呼び出します。

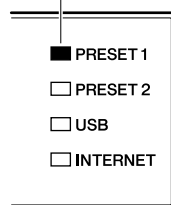
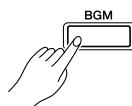
## BGM

以下のように構成されています。

- プリセット [PRESET 1]/プリセット[PRESET 2] ..... ピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50 曲を聞く (17 ページ)
- ユーエスビー [USB] ..... USB フラッシュメモリー内の曲を聞く (20 ページ)
- インターネット [INTERNET] ..... インターネットの曲を聞く (25 ページ)

[BGM] ボタンを押すたびに、ランプが [PRESET 1] → [PRESET 2] → [USB] → [INTERNET] → [オフ] → [PRESET 1] の順番に切り替わりますので、聞きたい BGM のランプを点灯させてください。

例: PRESET 1 が選ばれた状態



## BGM オフ

[BGM] ボタンを押して、[PRESET 1]/[PRESET 2]/[USB]/[INTERNET] ランプをオフにした状態です。  
音色を楽しむ (ご自分でピアノを弾く) (27 ページ)

## 自動演奏鍵盤オン/オフ

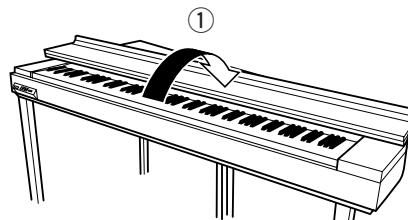
BGM 曲の再生に合わせて鍵盤が自動に動きます。  
自動演奏鍵盤を鑑賞する (19 ページ)

# ご使用前の準備

## ■ キーカバーと屋根を開ける

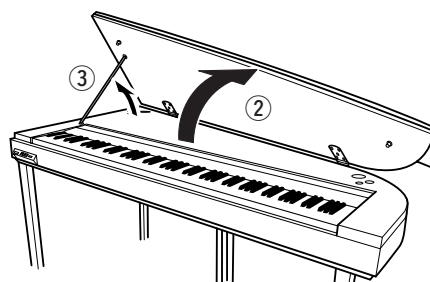
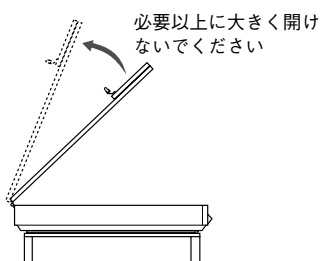
1. キーカバーを持ち上げて楽器の後側にたたみ込みます。

- ❗ 両手で持ち上げてください。
- ⊘ 途中でキーカバーを離さないでください。
- ❗ 指をキーカバーで挟まないように注意してください。



2. 屋根の前側を持ち上げて屋根を開きます。

- ⊘ 屋根を必要以上に大きく開けないでください。本体が破損する原因になります。



3. 屋根を持ち上げた状態で、ステーを起し、屋根の穴に合う位置に止めます。静かに屋根を下ろして屋根の穴とステーが合うように固定します。

## ■ キーカバーと屋根を閉じる

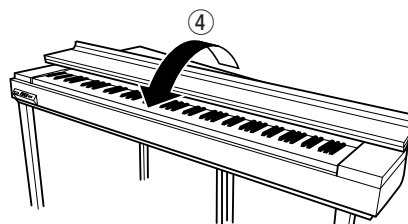
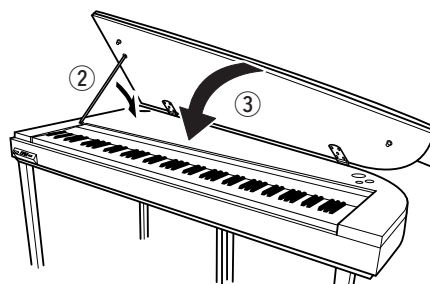
1. ステーをしっかりと押さえながら、その状態で屋根を少し持ち上げます。

2. ステーを下ろします。

3. 屋根を下ろします。

4. キーカバーを閉じます。

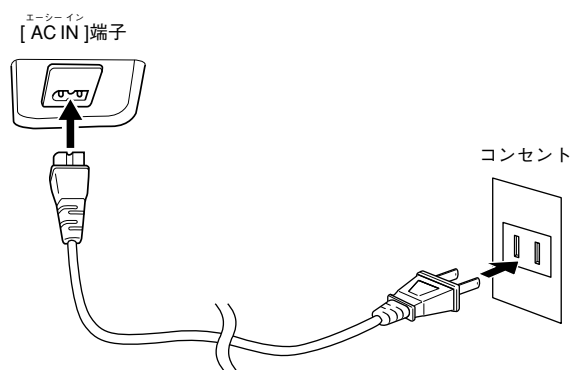
- ❗ 指をキーカバーで挟まないように注意してください。特にお子さまが近くにいるときはお子さまがけがをしないよう注意してください。



## 電源コードを接続する

下記をよくお読みいただき、正しく接続してください。

1. 電源コードの本体側のプラグを差し込みます。<sup>エーシーイン</sup>[AC IN] 端子の位置は、「各部の名称と機能」(10 ページ) でご確認ください。
2. コンセント側 (家庭用 AC100V) のプラグを差し込みます。
  - ❗ 電源は必ずAC100Vを使用してください。
  - ❗ 電源コードは、必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。



## 電源を入れる

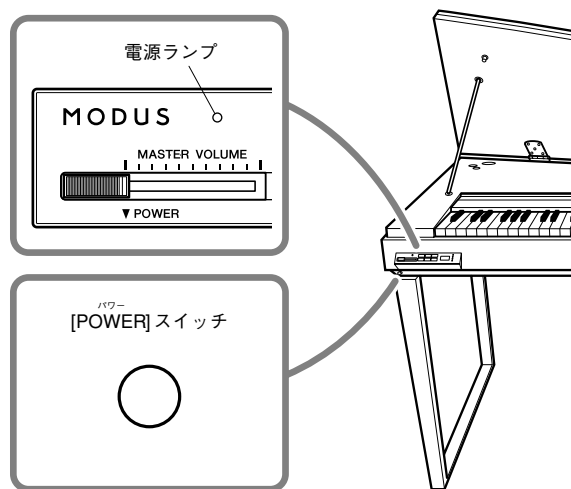
<sup>パワー</sup>[POWER] スイッチを押して、電源を入れます。

☞ 電源が入ると電源ランプが点灯します。

電源を切るときは、もう一度 <sup>パワー</sup>[POWER] スイッチを押します。

- ❗ USBフラッシュメモリーのデータを読み込み中 (<sup>ユーエスピー</sup>[USB] ランプ点滅中) は電源を切らないでください。データが壊れる原因になります。
- ❗ 電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。H11を長時間使用しないときは必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

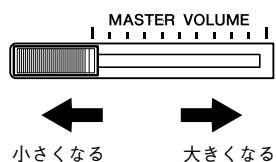
POWER= 電源



## 音量 (ボリューム) を調節する

本体パネル左の <sup>マスターボリューム</sup>[MASTER VOLUME] スライダーを左右に動かして調節します。実際に鍵盤を弾いて音を出しながら、音量を調節してください。

MASTER VOLUME= 全体の音量



[MASTER VOLUME] スライダーで <sup>フォーンズ</sup>[PHONES] 端子の出力レベルも調節できます。

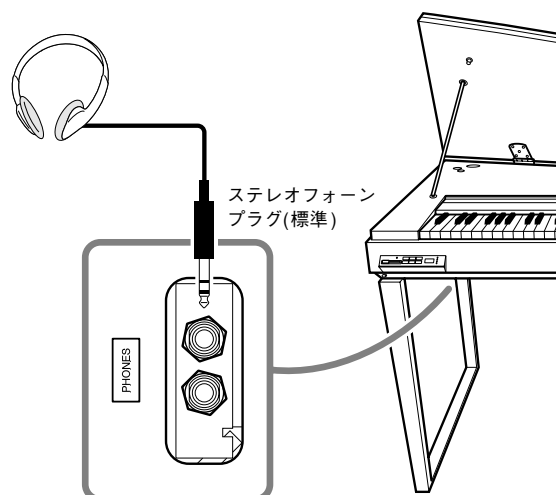
- ⊘ 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

## ヘッドフォン（別売）を使う場合

ヘッドフォンを **[PHONES]** <sup>フォーンズ</sup> 端子に接続して使います。  
**[PHONES]** 端子は2つありますので、ヘッドフォンを2本接続して2人で演奏を楽しむこともできます。1本だけ接続する場合は、どちらの端子をご使用いただいても構いません。

⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。  
 聴覚障害の原因になります。

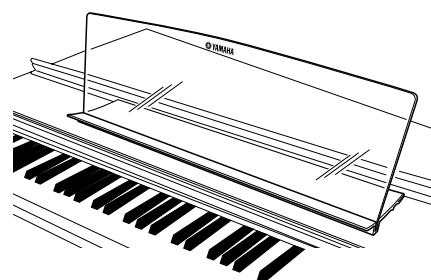
別売ヘッドフォン…  
 YAMAHA ヘッドフォン HPE-160



## 譜面板（別売）を使う場合

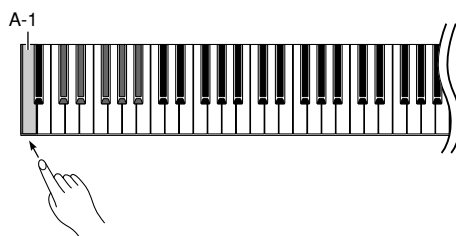
取り付け方法については、譜面板に付属の取扱説明書をご覧ください。

別売譜面板…  
 YAMAHA YMR-01



## 楽器本体のバージョンを確認する

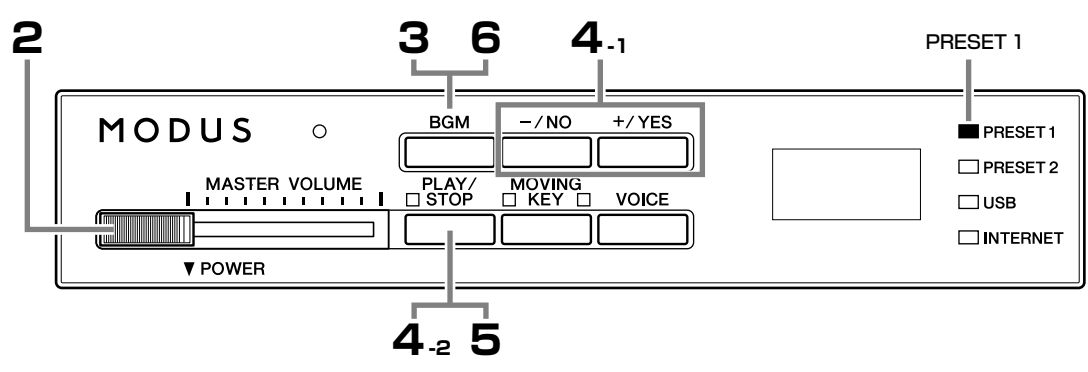
この楽器のバージョンを確認するには、**[MOVING KEY]** <sup>ムービング キー</sup> ボタンを押しながら、A-1 鍵盤を押します。元のディスプレイに戻る際には、**[- /NO]** <sup>ノー</sup> または **[+ /YES]** <sup>イエス</sup> ボタンを押します。





# ピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲(プリセットソング)を聞く

この楽器には、ピアノリスニングソング(Classic&Jazz)が50曲入っています。聞いてみましょう。



## 操作

**1 電源を入れる / 切る**  
 [POWER] スイッチをオンにします。

**2 音量を調節する**  
 音量はピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲を再生中にも調節できますが、[MASTER VOLUME] スライダーを中程まで上げておきます。

**3 [PRESET 1] または [PRESET 2] ランプを選ぶ**  
 [BGM] ボタンを押して、[PRESET 1] または [PRESET 2] ランプを選択します。  
 [PRESET 1] には Classic 曲、[PRESET 2] には Jazz 曲が入っています。曲名については、「ピアノリスニングソング (Classic&Jazz) 50 曲一覧」(48 ページ)をご参照ください。

**4 選曲し、再生をスタートする**  
 4-1 [- /NO] または [+ /YES] ボタンを押して、聞く曲を選びます。

**ランダム**  
**rnd :** 曲を順不同に、ストップするまで連続再生します。

**オール**  
**ALL :** 曲を順番に、ストップするまで連続再生します。

**シーン**  
**Sxx :** 曲をシーンごとに、ストップするまで連続再生します。

**1 ~ 30(PRESET 1) :**  
 曲番号を指定して 1 曲だけ再生します。

**31 ~ 50(PRESET 2) :**  
 曲番号を指定して 1 曲だけ再生します。



**ソング (SONG) とは**  
 H11 では、演奏データを総称して「ソング (SONG)」と呼んでいます。ピアノリスニングソング (Classic&Jazz) 50 曲も演奏データです。

**ランダム再生とは**  
 曲の中から曲順を楽器が決め、その順番に再生します。曲の停止中に [PLAY/STOP] ボタンを押すと曲順を組み替えて再生します。

## シーンとは

ピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50曲は 23 のシーンごとにも分けてありますので、好みのシーンを選んで聞くことができます。

たとえば「おとぎ話の世界」のイメージの演奏を聞きたいときは、「メルヘン」のシーンを選ぶとそのイメージの曲が次々に演奏されます。シーンの曲リストは 48 ページを参照ください。

## シーンタイトル

### Classic

- |          |       |                  |
|----------|-------|------------------|
| ・ホームパーティ | ・くつろぎ | ・メルヘン            |
| ・目覚め     | ・おやすみ | ・バロック古典 / ロマン派前期 |
| ・喜び      | ・哀しみ  | ・ロマン派前期 (ショパン)   |
| ・優雅      | ・ロマンス | ・ロマン派後期          |
|          |       | ・フランス近代          |

### Jazz

- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| ・ホームパーティ | ・ナイトタイム | ・イノセント |
| ・デイトタイム  | ・エレガント  | ・ロマンス  |
| ・アフターヌーン | ・アップビート |        |
| ・イブニング   | ・バラード   |        |

- 4-2** プレイ/ストップ **[PLAY/STOP]** ボタンを押すと再生がスタートします。  
H11 は、ソング再生に合わせ、鍵盤を動かすことができます (自動演奏鍵盤)。  
詳しくは、「自動演奏鍵盤を鑑賞する」(19 ページ) を参照してください。

## 音量の調節

マスターボリューム  
曲を聞きながら **[MASTER VOLUME]** スライダーで音量を調節します。

## 5 再生をストップする

**[PLAY/STOP]** ボタンを押します。

## 6 [PRESET 1] および [PRESET 2] ランプをオフにする

**[BGM]** ボタンを押して、**[PRESET1]** と **[PRESET2]** ランプをオフにします。

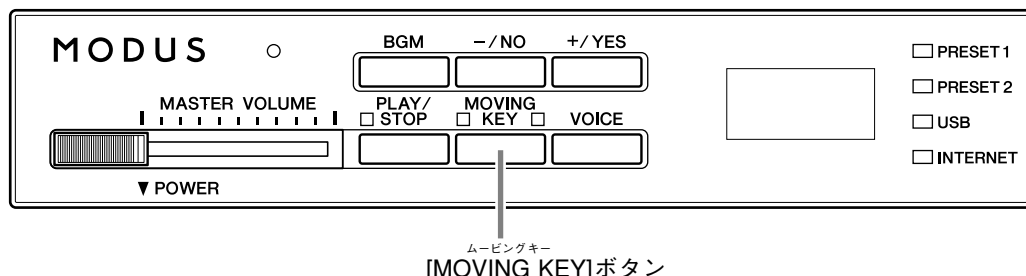
再生に合わせて、ご自身で鍵盤を弾くことができます。手弾きの音色は変えられます。

手弾き音と再生音用にリバーブ (31 ページ) を、手弾き音用にタッチ (32 ページ) を切り替えることができます。

リバーブは新しい曲を選ぶと (または、連続再生で新しい曲がスタートすると) その曲に合ったリバーブの種類になります。

# 自動演奏鍵盤を鑑賞する

ピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50 曲、USB フラッシュメモリーに保存した曲、およびインターネット上の曲などのソング再生に合わせて鍵盤が動く自動演奏鍵盤により、目でも演奏が楽しめます。自動演奏鍵盤とBGMモードの関係については、「この楽器のしくみ」(13 ページ)を参照してください。



## 操作

### 1 自動演奏鍵盤機能を有効にする

ムービングキー  
[MOVING KEY] ボタンをオンにします。

[MOVING KEY] ボタンをオンにしソング再生をスタートしても、ペダルは自動に動きません。

#### 初期設定

[MOVING KEY] ボタンはオンです。

#### 初期設定とは

本書では、初めて電源を入れたときの設定のことを「初期設定」と呼んでいます。各機能の初期設定については、「初期設定一覧」(50 ページ)を参照してください。

### 2 選曲し、再生をスタートする

ピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50 曲 (17 ページ)、USB フラッシュメモリーに保存した曲 (20 ページ)、およびインターネット上の曲 (25 ページ) などのソング再生をスタートさせてください。

自動演奏鍵盤の動作中に異常が発生したときには、ムービングキー [MOVING KEY] ステータスランプが赤く点灯します。詳細は、「メッセージ一覧」(51 ページ)をご参照ください。

### 3 再生をストップする

ピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50 曲 (17 ページ)、USB フラッシュメモリーに保存した曲 (20 ページ)、およびインターネット上の曲 (25 ページ) などのソング再生をストップしてください。

### 4 自動演奏鍵盤機能を無効にする

[MOVING KEY] ボタンをオフにします。

#### 自動演奏鍵盤の対象パート (チャンネル) 設定

初期設定では、ソングデータを基に最適なパートを自動で判別し演奏に合わせて鍵盤を動かします (Auto)。動かすパートを切り替えたい場合は、鍵盤を動かしたいパートのチャンネルを選択してください。

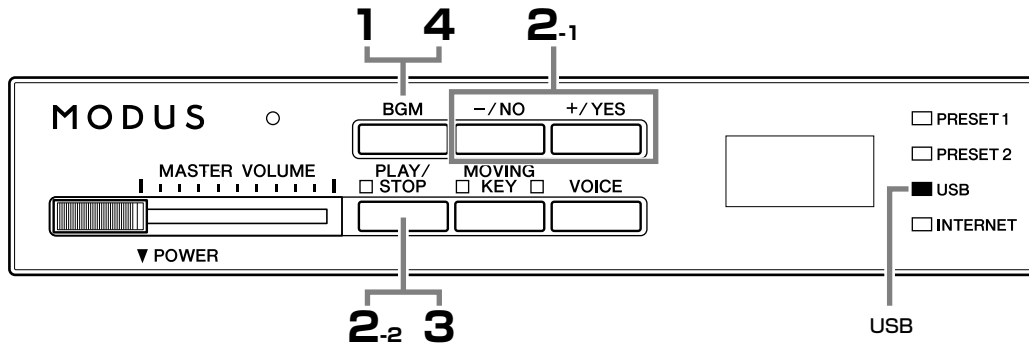
ムービングキー  
[MOVING KEY] ボタンを押しながら、C4 ~ F5 鍵盤を押します (別冊クイックオペレーションガイド)。この間、ディスプレイには選択されたチャンネルが表示されます。

C4 ~ D#5	鍵盤パート (チャンネル)1 ~ 16 とオン “0” / オフ “-” が表示されます。[MOVING KEY] ボタンを押しながら鍵盤を押すたびにオン/オフが切り替わりますので、パートごとに設定してください。
E5	ソングが変わっても現在のパートを維持します。自動で判別しません。ディスプレイには OFF が表示されます。
F5	ソングごとに最適なパートを自動で判別する (初期設定)。ディスプレイには ON が表示されます。

# USB フラッシュメモリー内の曲を聞く

楽器に USB フラッシュメモリーを差し込んで、コンピューターなどを使用して USB フラッシュメモリーに保存した曲を聞くことができます。USB フラッシュメモリー (USB 記憶装置) の取り扱いについては、22 ページを参照してください。

❗ 再生中または [USB] ランプ点滅中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。データが壊れる原因になります。



## 文字種の設定

この楽器で曲が読み込めない場合は、ファイル名の文字種に問題があることがあります。文字種を設定してください。

### 日本語にする

以下の文字を読み込みます。

- ・半角文字：アルファベット、数字、記号、カタカナ
- ・全角文字：漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号

A-1 と B-1 の鍵盤を押しながら、電源をオンにします。

### INTERNATIONAL にする

以下の文字を読み込みます。

- ・半角文字：アルファベット、数字、記号、ウムラウト文字

A-1 と A#-1 の鍵盤を押しながら、電源をオンにします。

## 初期設定

日本語

### 初期設定とは

本書では、初めて電源を入れたときの設定のことを「初期設定」と呼んでいます。各機能の初期設定については、「初期設定一覧」(50 ページ) を参照してください。

## 操作

### 1

#### [USB] ランプを選ぶ

USB フラッシュメモリーが楽器に接続されているのを確認してから、ピージーエム [BGM] ボタンを押して [USB] ランプを選択します。

### 2

#### 選曲し、再生をスタートする

2-1 [- /NO] または [+ /YES] ボタンを押して、曲を選びます。

ランダム  
rnd : 曲を順不同に、ストップするまで連続再生します。

オール  
ALL : 曲を順番に、ストップするまで連続再生します。

001 ~ 600 :

コンピューターなどを使用して USB フラッシュメモリーに保存した曲を順番に、聞く曲番号を指定して 1 曲だけ再生します。



曲によってはスタートするまでに時間がかかる場合があります。曲と曲の待ち時間についても同様です。

2-2 <sup>プレイ/ストップ</sup> [PLAY/STOP] ボタンを押すと再生がスタートします。

**音量の調節**

曲を聞きながら <sup>マスターボリューム</sup> [MASTER VOLUME] スライダーで音量を調節します。

**3 再生をストップする**

[PLAY/STOP] ボタンを押します。

**4 [USB] ランプをオフにする**

[BGM] ボタンを押して、[USB] ランプをオフにします。

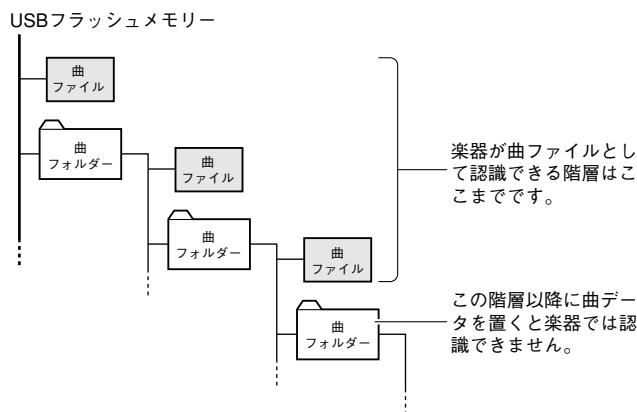
**使用できるデータフォーマット**

SMF[ フォーマット 0] と [ フォーマット 1]( スタンダード MIDI ファイル)、DOC( ディスクオーケストラコレクション)、ピアノプレーヤ用の曲も再生できます。

コンピューターなどで USB フラッシュメモリーに曲を保存する場合は SMF [ フォーマット 0] と [フォーマット 1](スタンダード MIDIファイル) 形式で保存してください。

ただしピアノ以外の楽器を使用している曲を再生すると元のデータどおりに再生されない場合があります。

**!** コンピューターなどでUSBフラッシュメモリーに曲をコピーする場合、ルートがルート上のフォルダー、またはルート上のフォルダー内につくったフォルダーの中に保存してください。これより下の階層のフォルダーに保存された曲は、この楽器では選択/再生できませんのでご注意ください。



Muma( ミューマ) からピアノソフト、ピアノソフトプラス、DOC のデータを購入する場合は、フロッピーディスクでの購入となります。そのデータを聞く場合は、USB [TO DEVICE] 端子に別売のフロッピーディスクドライブ「UD-FD01」を接続する必要があります。

**市販のソング**

コンピューターなどを使用して購入したソングや市販のディスクソングです。ディスクソングは、別売のフロッピーディスクドライブを楽器本体に接続してお楽しみください。H11 では、下記のうちいずれかのマークが付いたディスクを再生できます。



**XG ピアノボイスに差し替える**  
「インターネットの曲を聞く」の「XG のピアノボイスに差し替える (ソングオートリボイスの解除)」(26 ページ) を参照してください。

**初期設定**

オン (H11 に最適化されたピアノ音色)  
XG ピアノボイスに差し替えたい場合は、オフにしてください。

再生に合わせて、ご自身で鍵盤を弾くことができます。手弾きの音色は変えられます。

手弾き音と再生音用にリバーブ (31 ページ) を、手弾き音用にタッチ (32 ページ) を切り替えることができます。

リバーブは新しい曲を選ぶと (または、連続再生で新しい曲がスタートすると) その曲に合ったリバーブの種類になります。

**SMF (スタンダード MIDI ファイル) とは**

演奏データを記録する書式のことをシーケンスフォーマットといいます。SMF (スタンダード MIDI ファイル) は代表的なシーケンスフォーマットの1つで、[フォーマット 0] と [フォーマット 1] があります。多くの MIDI 機器が「SMF フォーマット 0」に対応しており、また市販の曲の多くが、「SMF フォーマット 0」で作られています。

Muma( ミューマ) とは、ミュージックデータの自動販売システムです。Muma 設置店はヤマハミュージックメディアホームページにてご確認くださいませ。  
<http://www.ymm.co.jp/muma/>

USB 記憶装置の取り扱いについては、最初に「USB 記憶装置の取り扱いについて」(22 ページ) をお読みください。

フロッピーディスクの取り扱いについては、最初に「フロッピーディスクの取り扱いについて」(23 ページ) をお読みください。

市販のミュージックデータは著作権で保護されていますので、コピー機能は個人で楽しむ範囲でご利用ください。

ユーエスピー トゥーデバイス

**USB [TO DEVICE] 端子ご使用上の注意**

本機には USB [TO DEVICE] 端子があります。USB [TO DEVICE] 端子に USB 機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

**NOTE** USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

**■ 使用できる USB 機器**

- ・ USB 対応の記憶装置（フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブなど）
- ・ USB ハブ

動作確認済み USB 機器については、ご購入の前にインターネット上の下記 URL でご確認ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>

**NOTE** 上記以外のUSB機器（マウス、コンピューターのキーボードなど）は、接続しても使えません。

**■ USB 機器の接続**

- ・ USB [TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。
- ・ 1つの USB [TO DEVICE] 端子に 2 台以上の USB 機器を同時に接続したい場合は、USB ハブを使います。電源付き（セルフパワー）の USB ハブを、電源を入れてご使用ください。USB ハブは 1 台のみ使用可能です。USB ハブの使用中にエラーメッセージが出た場合は、本機から USB ハブを抜き、本機の電源を入れ直した上で、再度 USB ハブを接続してください。
- ・ 本機は USB 1.1 に対応していますが、USB 2.0 の機器でも使用できます。ただし転送スピードは USB 1.1 相当になりますので、ご了承ください。

**USB 記憶装置の取り扱いについて**

本機に USB 記憶装置を接続すると、USB 記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。

**NOTE** USB記憶装置としてCD-R/RWドライブを接続した場合、CD-ROMのデータ(MIDIデータ)を楽器本体で再生/再現することはできませんが、楽器本体のデータを保存してCD-ROMを作ることはできません。

**■ 接続できる USB 記憶装置の数**

同時に使用できる USB 記憶装置は、1 台までです。

**■ USB 記憶装置のフォーマット**

USB 記憶装置の中には、本機で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。詳細は 24 ページをご覧ください。



フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。特に複数の USB 記憶装置を接続しているときは、ご注意ください。

**■ 誤消去防止**

USB 記憶装置には、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用前にお使いの USB 記憶装置のライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

**■ USB 記憶装置の抜き差し**

USB 記憶装置を外すときは、データのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。



USB記憶装置の頻繁な電源のオン/オフや抜き差しをしないでください。楽器本体の機能が停止するおそれがあります。データのアクセス中は、USBケーブルを抜いたり、USB記憶装置からメディアを取り出したり(USBフラッシュメモリーを抜いたり)、双方の電源を切ったりしないでください。メディアが壊れたり、楽器本体/メディアのデータが壊れたりするおそれがあります。



# フロッピーディスクの取り扱いについて

## フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクドライブは別売品 (52 ページ) をご使用ください。

ディスク挿入口にフロッピーディスクを挿入すると、ディスク内のデータを本体に読み込んだりできます。

フロッピーディスクをご使用いただく場合は、以下のことをお守りください。

### ■ 使用できるフロッピーディスクの種類

- ・ 3.5 インチの 2DD、または、2HD フロッピーディスクが使用できます。

### ■ フロッピーディスクのフォーマット

- ・ 新しいディスクや他の機器で使っていたディスクは、そのままでは使えない場合があります。この機器のドライブに入れてもディスクが読めない場合は、フォーマット (初期化) をする必要があります。フォーマットの方法は 24 ページをご覧ください。なお、フォーマットを行なうとディスク内のすべてのデータは消去されます。あらかじめ、データの有無をご確認ください。

**NOTE** この機器でフォーマットしたフロッピーディスクは、そのままでは他の機器で使えない場合があります。

### ■ フロッピーディスクの挿入 / 取り出し

#### ● フロッピーディスクの挿入

- ・ フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方 (表面) を上にして、ディスク挿入口にカチッと音がするまでていねいに差し込みます。

#### ● フロッピーディスクの取り出し

- ・ あらかじめフロッピーディスクにアクセス中 \* でないことを確認した上で、ディスク挿入口の右上にあるイジェクトボタンをしっかりと奥まで押します。フロッピーディスクが押し出されるので、取り出して (引き抜いて) ください。フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなった場合は、無理に取り出そうとせず、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んでからやり直してください。

\* アクセス中：ディスク内のデータを本体に読み込み中であることを指します。



アクセス中にフロッピーディスクを取り出したり、楽器本体の電源を切ったりしないでください。ディスク内容がこわれるだけでなく、フロッピーディスクドライブの故障の原因になります。

- ・ 電源を切るときは、フロッピーディスクはあらかじめディスクドライブユニットから取り出してください。電源を切ったあと、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。

### ■ 磁気ヘッドの定期的なクリーニング

- ・ ディスクドライブユニットは高精度の磁気ヘッドを使用しています。ディスクドライブユニットを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れると、録音や再生にエラーが生じることがあります。
- ・ ディスクドライブユニットを良好な状態でご使用いただくために、磁気ヘッドを定期的に (1 ヶ月に 1 回程度) クリーニングしていただくことをおすすめします。

**NOTE** 磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、弊社推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

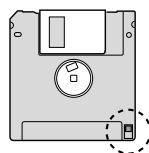
### ■ フロッピーディスクについてのご注意

#### ● フロッピーディスクの取り扱いと保管

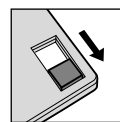
- ・ (持ち運び場合も含めて) 必ず市販のケースに入れて保管し、落としたり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。また、ディスク内部に水やほこりなどが入らないようにしてください。
- ・ 直射日光のあたる場所 (日中の車内など) やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。
- ・ ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- ・ 磁気を帯びたもの (テレビやスピーカーなど) には近づけないでください。
- ・ シャッターやディスク自体が変形しているようなディスクは、使用しないでください。
- ・ フロッピーディスクにはラベル以外のもの (メモなど) を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

#### ● 誤消去防止

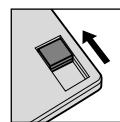
- ・ フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまわないようにライトプロテクトタブ (書き込み禁止タブ) が付いています。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン (タブの窓が開いた状態) にして、書き込みができませんようにしてください。逆に、データを保存する場合などは、ご使用の前にディスクのライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認ください。



フロッピーディスクの裏側



書き込み不可 (演奏を録音できません。)



書き込み可 (演奏を録音できます。)

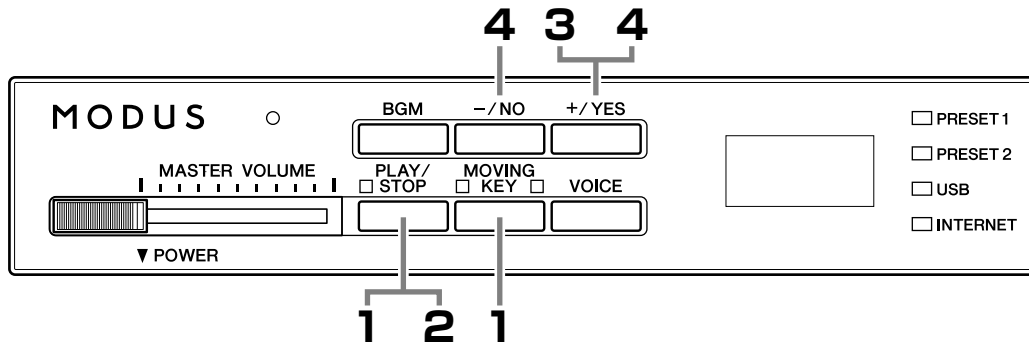
#### ● データのバックアップ

- ・ フロッピーディスクの万一の事故に備えて、大切なデータはバックアップとして予備のディスクに保存しておかれることをおすすめします。

**NOTE** 市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をご確認の上、お求めください。

# ユーエスビー メディア (USB 機器) を初期化する

メディアの中には、本機で使用する前に初期化が必要なものがあります。



## 1 初期化モードに入る

メディアが楽器に接続されているのを確認してから、<sup>ムービングキー</sup>[MOVING KEY] ボタンを押しながら、<sup>プレイ/ストップ</sup>[PLAY/STOP] ボタンを押します。



## 2 初期化対象のメディアを検索する

[PLAY/STOP] ボタンを押すと、初期化対象のメディアを検索します。  
初期化対象のメディアが見つかった場合には、ディスプレイに「n - y」が表示されます。

初期化を中止する場合は、操作3で<sup>イエス</sup>[+ /YES] ボタンを押す前に、<sup>ノー</sup>[- /NO] ボタンを押します。

## 3 初期化をスタートする

[+ /YES] ボタンを押します。初期化が完了すると、ディスプレイに「End」が表示されます。

## 4 初期化モードを抜ける

[- /NO] または [+ /YES] ボタンを押します。

❗ 初期化を実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してから初期化してください。特にUSB機器に複数スロットがある場合、メディアを複数接続したまま初期化を実行すると、誤って意図しないメディアが初期化される危険があるため、初期化したいメディアのみを接続するようにしてください。

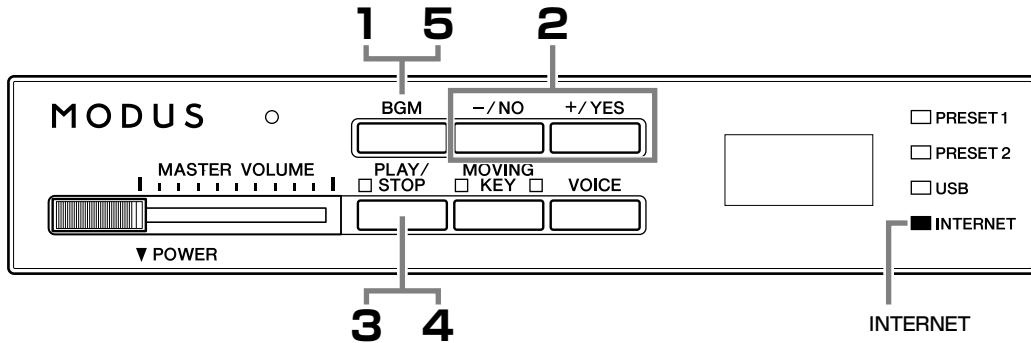
BGM再生中は初期化モードに入れません。

初期化対象のメディアが見つからなかったり、初期化に失敗した場合には、ディスプレイに「Err」とエラーコードが交互に表示されます。



# インターネットの曲を聞く

専用サイトのストリーミングサービスを利用することにより、さまざまなジャンルのソング(曲データ)を再生させ、BGMとして聞くことができます。

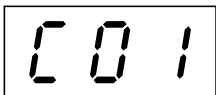


インターネットへの接続については、最初に「インターネットダイレクト 接続機能」(33 ページ)をお読みください。

## 操作

**1** <sup>インターネット</sup> **[INTERNET] ランプを選ぶ**  
 楽器がインターネットに接続されているのを確認してから、<sup>ビジーエム</sup> **[BGM]** ボタンを押して **[INTERNET]** ランプを選択します(通信中は、**[INTERNET]** ランプが点滅します)。

**2** **チャンネルを変更する**  
<sup>ノ</sup> **[- /NO]** または <sup>イエス</sup> **[+ /YES]** ボタンを押して、チャンネルを変更します。この間、ディスプレイには選択されているチャンネルが表示されます。



**3** **再生をスタートする**  
<sup>プレイ/ストップ</sup> **[PLAY/STOP]** ボタンを押すと、インターネット上の曲データが再生されます(通信中は、**[INTERNET]** ランプが点滅します)。

**4** **再生をストップする**  
**[PLAY/STOP]** ボタンを押します。

**5** **[INTERNET] ランプをオフにする**  
**[BGM]** ボタンを押して、**[INTERNET]** ランプをオフにします。

**ストリーミングとは**  
 曲データを受信しながら再生する方式です。曲データのファイル保存はできませんが、何回でも呼び出すことができます。

ディスプレイのイラストは、操作説明のためのものです。したがって実際のディスプレイと異なる場合があります。

再生に合わせて、ご自身で鍵盤を弾くことができます。手弾きの音色は変えられます。

手弾き音と再生音用にリバーブ (31 ページ) を、手弾き音用にタッチ (32 ページ) を切り替えることができます。

リバーブは新しい曲を選ぶと(または、連続再生で新しい曲がスタートすると) その曲に合ったリバーブの種類になります。

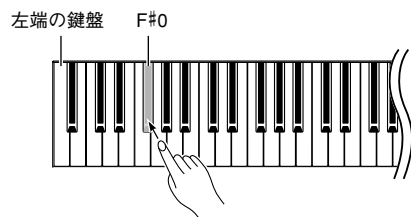
# ■ XG のピアノボイスに差し替える (ソングオートリボイスの解除)

市販の XG ソングデータや H11 以外の楽器で制作したソングデータを再生するとき、H11 に最適化されたピアノ音色を XG のピアノボイスに差し替える (リボイスを解除する) ことができます。この機能は、差替処理 (リボイスの解除) をソング再生時に自動に行なってくれます。

## 操作

ビージーエム

**[BGM]** ボタンを押しながら F#0 鍵盤を押して、機能のオン/オフを切り替えます。この間、ディスプレイには機能の ON/OFF が表示されます。



## 初期設定

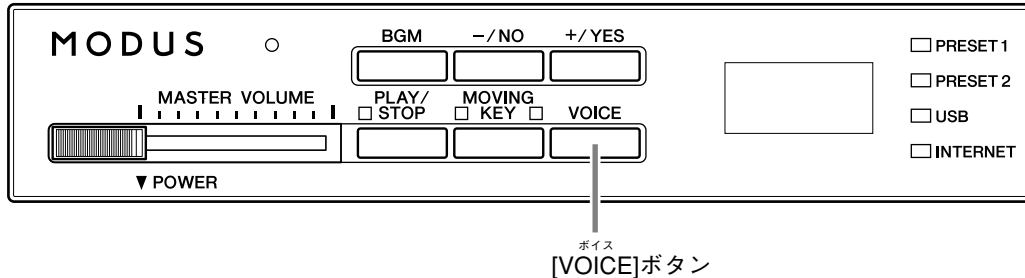
オン (H11 に最適化されたピアノ音色)

XG ピアノボイスに差し替えたい場合は、オフにしてください。

ここでの設定は手弾き音に影響しません。手弾き音は、H11 に最適化されたピアノ音色です。

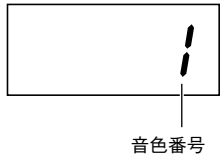
# 音色を楽しむ

## ■ 音色を選ぶ



### 操作

**1 音色を確認する**  
 [ボイス] [VOICE] ボタンを押すと、ディスプレイに現在選ばれている音色の番号が3秒間表示されます。



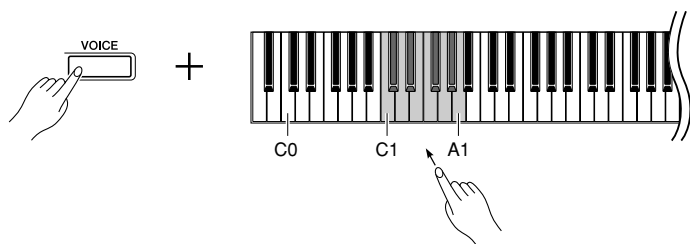
デュアルモード (29 ページ) のときは、第1音色の番号と第2音色の番号が交互に表示されます。

**2 音色を選ぶ**  
 音色番号の表示中に [VOICE] ボタンを押すと、押すたびに以下の順に音色が切り替わりますので、選びたい音色の番号を表示させます。

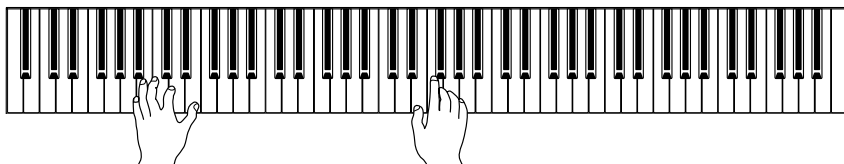
#### 音色一覧

音色番号	鍵盤	音色名	音色紹介
1	C1	グランドピアノ1	フルコンサートグランドピアノからサンプリングしました。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。
2	C#1	グランドピアノ2	明るい響きを持ったクリアなピアノの音です。ポピュラー音楽に最適です。
3	D1	ピアノ & スtringス	グランドピアノとストリングスの音色で鳴ります。オーケストラバックのゆったりとしたピアノ曲に最適です。
4	D#1	エレクトリックピアノ1	FM シンセサイザーによる電子ピアノの音です。ポピュラー音楽に最適です。
5	E1	エレクトリックピアノ2	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾いたときは芯のある音がします。
6	F1	チャーチオルガン	パイプオルガンのプリンシパル系 (金管楽器系) の混合音栓の音 (8フィート+4フィート+2フィート) です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
7	F#1	ジャズオルガン	歯車回転式電気オルガンの音です。ジャズ、ロックなどの音楽で良く用いられます。
8	G1	ストリングス	広がりある弦楽アンサンブルの音です。ピアノとのデュアルに向いています。
9	G#1	ハーブシコード	バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによる音量変化はありません。
10	A1	ビブラフォン	比較的柔らかなマレットでたたいたビブラフォンの音です。

**ボイス**  
**[VOICE]** ボタンを押しながら、C1～A1 鍵盤のどれかを押して、音色を選ぶこともできます (別冊クイックオペレーションガイド)。



**マスターボリューム**  
**[MASTER VOLUME]** スライダーで音量を調節しながら演奏してください。

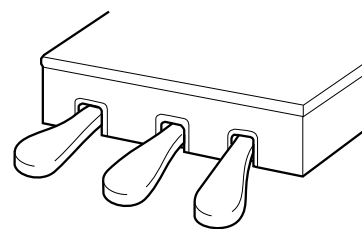


**[VOICE]** ボタンを押しながら [+ / YES] または [- / NO] ボタンを押すことでも、音色が切り替わります。また、BGM オフ時に [+ / YES] または [- / NO] ボタンを押すことでも、音色が切り替わります。

タッチにより音の強弱を付けることができますが、音色によっては音の強弱が付かないものがあります。

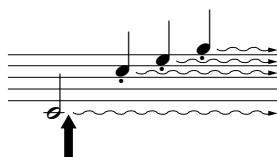
## ペダルを使う

ペダルには、右のペダル (ダンパーペダル) とまん中のペダル (ソステヌートペダル)、左のペダル (ソフトペダル) があります。これらはピアノ演奏で使われます。



### 右のペダル (ダンパーペダル)

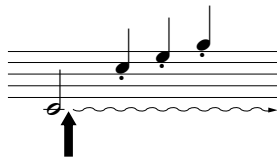
このペダルを踏んでいる間、弾いた音を、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。「グランドピアノ 1」の音色で、ダンパーペダルを踏むと、ダンパーペダルを踏んだときの響板や弦の共鳴効果 (サステインサンプリング) が加わります。



ここでダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く

### まん中のペダル (ソステヌートペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。



ここでソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く

### 左のペダル (ソフトペダル)

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくすることができます (ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけた音を弾く直前に踏みます)。

### オルガンやストリングスの音色では

ソステヌートペダルを踏むと、音が減衰せず、踏んでいる間鳴り続けます。

ペダルは一般的なアコースティックピアノ同様経年変化によって変色することがあります。その際はピアノ用コンパウンドを楽器店などでお買い求めいただき、使用上の注意をよくご確認のうえご使用ください。

# 2つの音色を重ねる（デュアル）

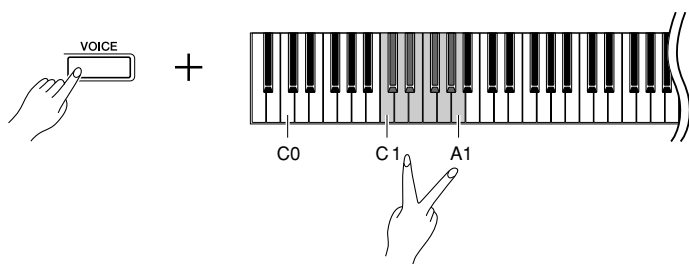
音色を重ねる機能をデュアルといいます。重ねて鳴らすことにより、厚みのある音を作りだします。

## 操作

### 1 デュアルモードに入る

[VOICE] ボタンを押したまま、C1～A1 鍵盤のうち2つの鍵盤を同時に押します（または、ひとつの鍵盤を押したままもう一方の鍵盤を押します）（別冊クイックオペレーションガイド）。

⇒ このとき2つの音色が選ばれます。選ばれた2つの音色の番号は、ディスプレイに交互に表示されます。音色と鍵盤の関係については、「音色を選ぶ」（27ページ）をご参照ください。



※ 上記の設定で選んだ2つの音色のうち、左側の鍵盤に割り当てられた音色が第1音色、右側の鍵盤に割り当てられた音が第2音色になります。

第1音色、第2音色はそれぞれ、以下のような設定ができます。

### 2 音色の音量バランス設定

片方の音をメインにしてもう片方の音を薄く重ねるなど、2音色の音量バランスを設定します。

[VOICE] ボタンを押しながら、F#5～F#6 鍵盤を押します（別冊クイックオペレーションガイド）。この間、ディスプレイには音量バランスが表示されます。設定値が+6に近づくほど第1音色の音量が大きくなります。設定値が0で初期設定の音量になります。

### オクターブシフトの設定

音程を1オクターブ上下にシフトさせます。第1音色と第2音色を別々に設定できます。音の響き方が違ってきます。

[VOICE] ボタンを押しながら、A4～D5 鍵盤を押します（別冊クイックオペレーションガイド）。この間、ディスプレイにはオクターブシフトの値が表示されます。

第1音色	A4	-1
	A#4	0
	B4	+1

第2音色	C5	-1
	C#5	0
	D5	+1

デュアル=2つ

#### モードとは

ある機能を実行できる状態を意味しています。ここでは、音色を重ねることができる状態のことを「デュアルモード」と呼んでいます。

#### 初期設定

音色の組み合わせごとバランスが設定されています。

#### 初期設定

音色の組み合わせごとオクターブが設定されています。

## 第2音色のリバーブの深さ設定

<sup>ボイス</sup>  
[VOICE] ボタンを押しながら、A-1 ~ G#0 鍵盤を押します (別冊クイックオペレーションガイド)。この間、ディスプレイにはリバーブの深さが表示されます。

## 2 デュアルモードを抜ける

BGM モードがオフのときに [ + /<sup>イエス</sup>YES ] または [ - /<sup>ノー</sup>NO ] ボタンを押すか、音色番号が表示されているあいだに [VOICE] ボタンを押します。いずれの場合も、グランドピアノ1の音色になります。

また、デュアルモードから抜けると同時に音色を設定したい場合は、[VOICE] ボタンを押しながら C1 ~ A1 鍵盤のいずれかを押します (別冊クイックオペレーションガイド)。

### 初期設定 = G#0

音色ごとに第2音色のリバーブの深さが設定されています。

[VOICE] ボタンを押しながら [ + /YES ] または [ - /NO ] ボタンを押してもデュアルモードから抜けられます。この場合グランドピアノ1の音色になります。

### デュアルのときのリバーブ

第1音色のリバーブ (31 ページ) の種類が、採用されます。

# 音色の設定を保存する

現在選択されている一部の音色設定は楽器本体に保存できます。電源を切っても消えずに残ります。

## 操作

[VOICE] ボタンを押しながら、<sup>プレイ/ストップ</sup> [PLAY/STOP] ボタンを押します (別冊クイックオペレーションガイド)。保存が完了すると、ディスプレイに「End」が3秒表示されます。以下の設定が保存されます。

- リバーブの種類と深さ
- オクターブ
- ボリューム

### 初期設定に戻す

[VOICE] と [PLAY/STOP] ボタンを押しながら、電源をオンにします。

音色の設定を変更したあと、設定を保存せずに音色を変更すると、設定は消えてしまいます。

## ■ 音に残響を付ける (リバーブ)

音に残響を付けます。種類により、その場所で演奏しているような臨場感を味わえます。その深さ ( かかり具合 ) を変えることもできます。

### 操作

#### リバーブの種類設定

<sup>ボイス</sup>  
[VOICE] ボタンを押しながら、G#6 ~ C7 鍵盤を押します (別冊クイックオペレーションガイド)。この間、ディスプレイにはリバーブの種類が表示されます。

鍵盤	リバーブの種類	説明
G#6	1 (ルーム)	部屋の中にあるような響きになります。
A6	2 (ホール1)	小さいコンサートホールにあるような響きになります。
A#6	3 (ホール2)	大きいコンサートホールにあるような響きになります。
B6	4 (ステージ)	ステージにあるような響きになります。
C7	OFF (オフ)	リバーブはかかりません。

グランドピアノ 1 または 2 の音色では、オフの場合でも、ピアノの響板の響き ( サウンドボードリバーブ ) を残すようになっています。

#### リバーブの深さ設定

[VOICE] ボタンを押しながら、A2 ~ F#4 鍵盤を押します (別冊クイックオペレーションガイド)。この間、ディスプレイにはリバーブの深さが表示されます。

#### 初期設定

音色ごとにリバーブの種類 ( オフも含む ) が設定されています。

#### 設定範囲

0 ( 効果なし ) ~ 20 ( 深さ最大 )

#### 初期設定

音色ごとに標準の深さが設定されています。

## ■ キー ( 調 ) を変える ( トランスポーズ )

弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さにキー ( 調 ) を合わせることができます。半音単位でトランスポーズを設定できます。

たとえばトランスポーズを「+5」に設定すると、「ド」の鍵盤を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「ハ長調」の弾きかたで「ヘ長調」の演奏になります。

### 操作

<sup>ビージーエム</sup>  
[BGM] ボタンを押しながら、F#5 ~ F#6 鍵盤を押します (別冊クイックオペレーションガイド)。この間、ディスプレイにはトランスポーズ量が表示されます。

C6 鍵盤を押すと標準の音の高さになります。F#5 ~ B5 鍵盤を押すと半音単位でキーが下がり、C#6 ~ F#6 鍵盤を押すと半音単位でキーが上がります。



トランスポーズ量

#### トランスポーズ：移調する

移調：曲全体の音の高さを上げたり下げたりしてキー ( 調 ) を変えること。

#### トランスポーズ量

F#5: -6 半音  
C6: 標準の音の高さ  
F#6: +6 半音

#### トランスポーズをかけた場合の発音域について

トランスポーズによって、G8 より高くなる音は 1 オクターブ下の音で、C-2 より低くなる音は 1 オクターブ上の音で発音します。

# ■ 音の高さの微調整をする (チューニング)

楽器全体の音の高さを微調整する機能です。合奏のときや、CDの再生に合わせて演奏するときなど、ほかの楽器やCDの再生音などと音の高さを正確に合わせたい場合に使います。

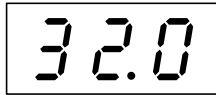
## 操作

### 音の高さを上げる (0.2Hz 単位)

[BGM] ボタンと [PLAY/STOP] ボタンを押しながら、[ + /YES ] ボタンを押します。この間、ディスプレイには音の高さが表示されます。

100 の位は表示されません。

例：432.0Hz の場合



### 音の高さを下げる (0.2Hz 単位)

[BGM] ボタンと [PLAY/STOP] ボタンを押しながら、[ - /NO ] ボタンを押します。この間、ディスプレイには音の高さが表示されます。

### 初期設定に戻す

[BGM] ボタンと [PLAY/STOP] ボタンを押しながら、[ + /YES ] ボタンと [ - /NO ] ボタンを同時に押します。この間、ディスプレイには初期設定の高さが表示されます。

#### Hz(ヘルツ)とは

音の高さを示す単位です(音の高さは音波の振動数によって決まります。1秒間に何回振動するかという数値の単位がHzです)。

#### 設定範囲

414.8 ~ 466.8 Hz

#### 初期設定

A3 = 440.0 Hz

# ■ タッチ感を変える (タッチ)

弾く強さに対する音の強弱の付き方(タッチ感)を4種類から選びます。使う音色や演奏する曲、好みによって使い分けてください。

## 操作

[BGM] ボタンを押しながら、A6 ~ C7 鍵盤を押します(別冊クイックオペレーションガイド)。この間、ディスプレイにはタッチの種類が表示されます。

鍵盤	タッチの種類	説明
A6	OFF(フィックスド)	タッチによる音の強弱は付かず、一定の音量が出ます。
A#6	1(ソフト)	軽いタッチで大きい音を出すことができます。比較的音のつぶがそろいやすいタッチです。
B6	2(ミディアム)	標準的なタッチです。
C7	3(ハード)	強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。ピアノシモからフォルティシモまで表現豊かな演奏ができます。

鍵盤の重さ自体は変わりません。

#### 初期設定

B6(ミディアム)

タッチの種類は全音色に共通の設定となります。ただし、音色によっては、ここでの設定にかかわらず、タッチによる音の強弱がつかないものもあります。「音色一覧」(27ページ)をご参照ください。



# インターネットダイレクト接続機能

この機能を使って専用サイトのストリーミングサービスを利用することにより、さまざまなジャンルのソング(曲データ)を再生させ、BGMとして聞くことができます。

楽器の自動演奏鍵盤機能を使えば、耳で聞くだけでなく目でも演奏が楽しめます。

ここでは、コンピューターや通信規格に関する用語が出てきます。わからない用語が出てきたら、「インターネット用語集」(41 ページ)を参照してください。

## ストリーミングとは

曲データを受信しながら再生する方式です。曲データのファイル保存はできませんが、何回でも呼び出すことができます。

## 楽器をインターネットに接続する準備

ブロードバンドルーターまたはルーター機能付きモデムを通して、楽器を常時接続回線(ADSL、光ファイバー、ケーブルテレビインターネット)に接続します。最新のサービス内容、具体的な接続方法(使用できる機器など)については、インターネット上の下記 URL でご確認ください。

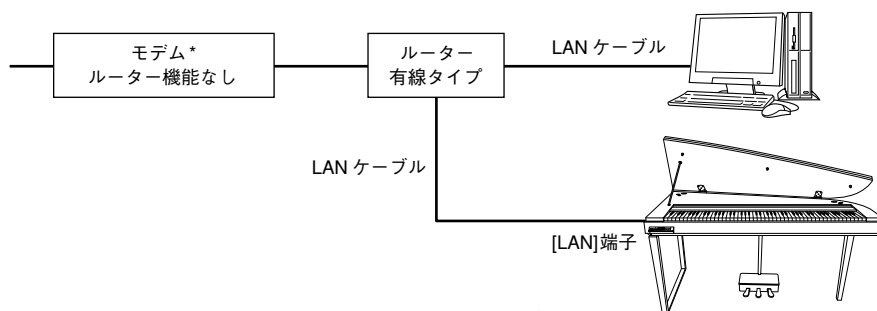
<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/net/>

モデムやブロードバンドルーターの設定は楽器上では行なえませんので、楽器を接続する前に、コンピューターで設定してください。

また、インターネットで通信を行なうために、あらかじめインターネットプロバイダーとの契約をしておく必要があります。

H11には、LANケーブル(別売)を固定するためのコードホルダーが付属しています。コードホルダーの取り付け方法については、57 ページをご覧ください。

### 接続例 1：有線で接続する(ルーター機能のないモデムを使用)



インターネットの契約内容によっては、2台以上の機器(コンピューター、楽器など)に接続できない場合があります。この場合、楽器を接続することはできません。契約内容をご確認ください。

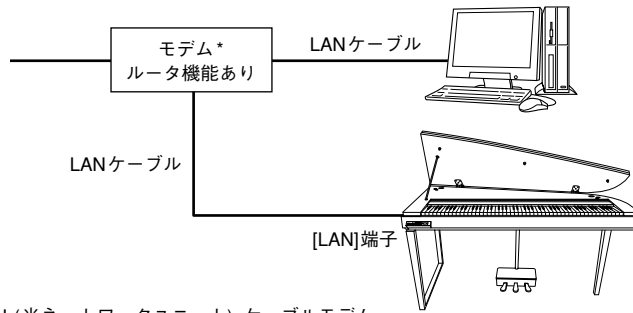
LAN ケーブルは、[LAN] 端子に接続してください。

モデムの種類によっては、複数の機器(コンピューターと楽器など)を接続するために、別途イーサネットハブが必要な場合もあります。

ご用意いただくもの

LAN ケーブル

### 接続例 2 : 有線で接続する ( ルーター機能のついているモデムを使用 )

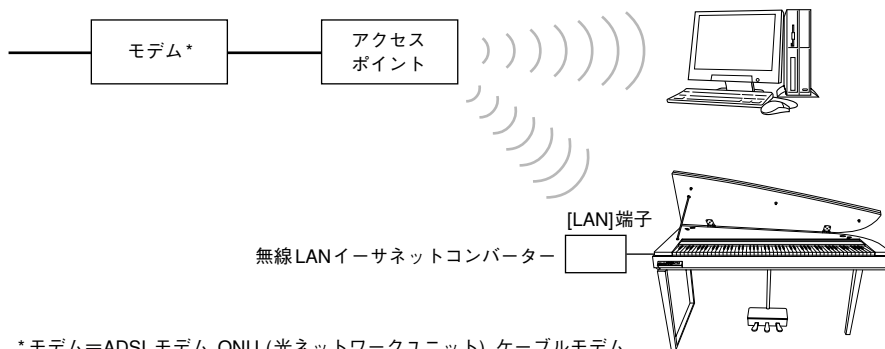


\* モデム=ADSL モデム、ONU (光ネットワークユニット)、ケーブルモデム

ご用意いただくもの	LAN ケーブル
-----------	----------

LAN ケーブルは、[LAN] 端子に接続してください。

### 接続例 3 : 無線で接続する ( 無線 LAN イーサネットコンバーターを使用 )



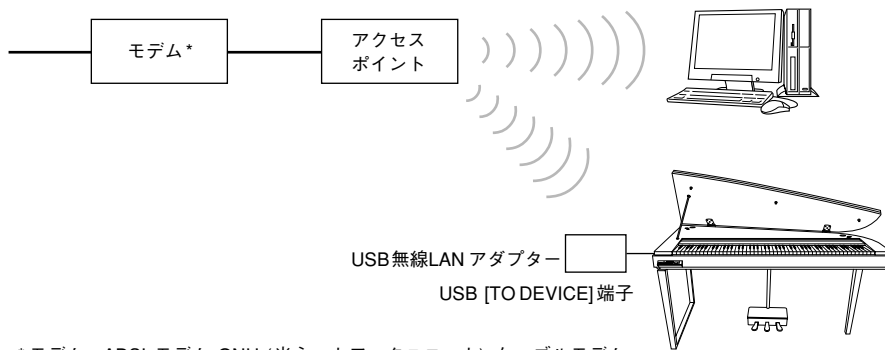
\* モデム=ADSL モデム、ONU (光ネットワークユニット)、ケーブルモデム

ご用意いただくもの	無線 LAN イーサネットコンバーター
-----------	---------------------

無線LAN イーサネットコンバーターは、[LAN] 端子に接続してください。

モデム、アクセスポイントのどちらかにルーター機能が必要です。

### 接続例 4 : 無線で接続する ( USB 無線 LAN アダプターを使用 )



\* モデム=ADSL モデム、ONU (光ネットワークユニット)、ケーブルモデム

ご用意いただくもの	USB 無線 LAN アダプター
-----------	------------------

USB 無線 LAN アダプターは、USB [TO DEVICE] 端子に接続してください。

モデム、アクセスポイントのどちらかにルーター機能が必要です。

H11 が対応している暗号化方式は WEP のみです。

# 楽器をインターネットに接続する

## 有線 LAN(DHCP 使用) をお使いの場合

楽器での設定は不要です。

ブロードバンドルーター、またはルーター機能付きモデムと楽器を LAN ケーブルで接続するだけでインターネットへの接続が可能です。

楽器をインターネットに正しく接続したあと、<sup>ビジーエム</sup>[BGM] ボタンで <sup>インターネット</sup>[INTERNET] ランプを点灯させると、ディスプレイにインターネット上のチャンネルが表示されます。

⇒ ストリーミングサービスを利用して、インターネット上の曲を再生することができます。再生方法については、「インターネットの曲を聞く」(25 ページ) をご覧ください。

## 有線 LAN(固定 IP アドレス、プロキシサーバー使用) をお使いの場合

楽器でのインターネット設定が必要です。

インターネット設定の方法については「インターネット設定について」(36 ページ) をご覧ください。

## 無線 LAN(無線 LAN イーサネットコンバーター) をお使いの場合

楽器での設定は不要です。

無線 LAN イーサネットコンバーターを楽器に接続するだけでインターネットへの接続が可能です。

\* 無線 LAN イーサネットコンバーターはアクセスポイントなどの設定が必要です。設定方法については使用される製品の取扱説明書をご覧ください。

楽器をインターネットに正しく接続したあと、[BGM] ボタンで [INTERNET] ランプを点灯させると、ディスプレイにインターネット上のチャンネルが表示されます。

⇒ ストリーミングサービスを利用して、インターネット上の曲を再生することができます。再生方法については、「インターネットの曲を聞く」(25 ページ) をご覧ください。

## 無線 LAN(USB 無線 LAN アダプター) をお使いの場合

コンピューターでインターネット設定ファイルを作り、その設定ファイルを楽器に読み込む必要があります。

インターネット設定の方法については「インターネット設定について」(36 ページ) をご覧ください。

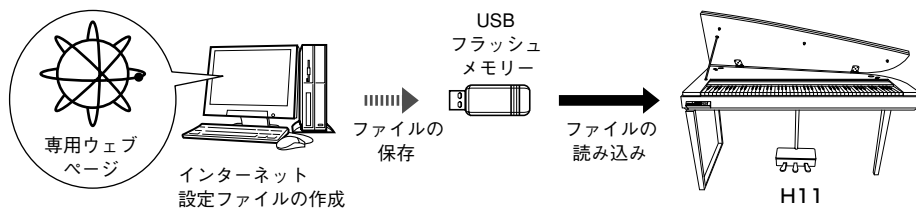
一般的なブロードバンドルーターや一般的なルーター機能付きモデムには DHCP 機能があります。

# インターネット設定について

インターネット設定は、コンピューターを使って専用ウェブページ上で行ないます。有線 LAN( 固定 IP アドレス、プロキシサーバー使用 )、または無線 LAN(USB 無線 LAN アダプター) をお使いの場合は、以下の設定を行なってください。

## (インターネット設定)

初めてインターネットダイレクト接続機能を利用するときは、以下の流れでインターネット設定を行ないます。コンピューターで設定ファイルを作成し楽器に読み込みます。



詳しくは、インターネット上のウェブページ

<<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/net/>> をお読みください。

## インターネット設定ファイルを作成する

あらかじめコンピューターを使って専用ウェブページ上でインターネット設定ファイルを作成しておく必要があります。

インターネット設定ファイルの作成方法は、ウェブページ

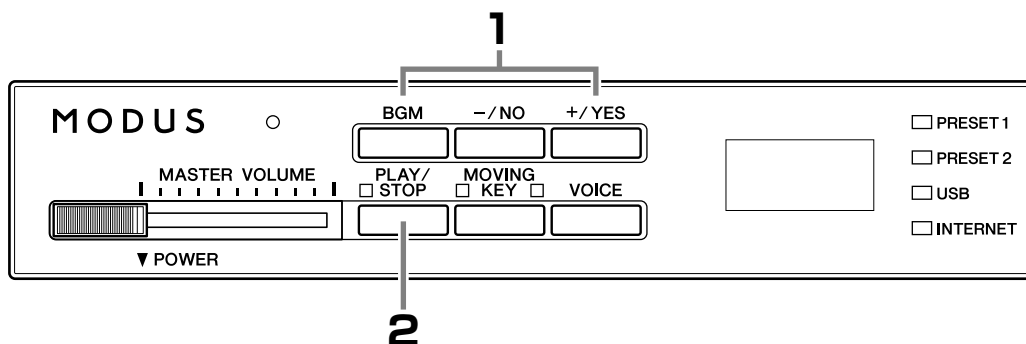
<<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/net/>> の説明をお読みください。

## インターネット設定ファイルを読み込む

コンピューターを使って専用ウェブページ上で作成したインターネット設定ファイルを楽器に読み込み、インターネット設定を行ないます。

有線 LAN(DHCP 使用)、または無線 LAN( 無線 LAN イーサネットコンバーター) をお使いの場合は、ここでのインターネット設定は不要です。

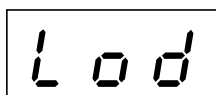
インターネット設定の内容は楽器内部にバックアップされます。



## 操作

### 1 読み込みモードに入る

インターネット設定ファイル「config.n21」が保存されている USB フラッシュメモリーが、楽器に接続されているのを確認してから、**[BGM]** ボタンを押しながら **[+ /YES]** ボタンを押します。

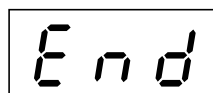


❗ 読み込みを中止する場合は、操作2 で **[PLAY/STOP]** ボタンを押す前に **[PLAY/STOP]** ボタン以外のボタンを押します。

### 2 読み込みをスタートする

**[PLAY/STOP]** ボタンを押します。

⇒ USB フラッシュメモリーからの読み込みが完了すると、ディスプレイに「End」が表示されます。「End」表示を消すには、いずれかのボタンを押します。



⇒ 読み込みが完了すると、インターネットダイレクト接続に必要なインターネット設定が完了します。

楽器をインターネットに正しく接続したあと、**[BGM]** ボタンで **[INTERNET]** ランプを点灯させると、ディスプレイにインターネット上のチャンネルが表示されます。

ストリーミング再生の方法については「インターネットの曲を聞く」(25 ページ) をご参照ください。

インターネット設定ファイル「config.n21」はウェブページ上で作成します(36 ページ)。

BGM再生中(13 ページ)は、読み込みモードには入れません。

読み込みが正常に完了しなかった場合は、ディスプレイに「Err」とエラーコードが交互に表示されます。

#### エラーコード

エラーコードの内容については、インターネット上のウェブページ < <http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/net/> > で、ご確認ください。

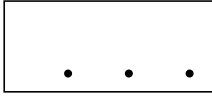
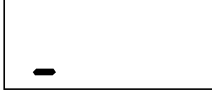

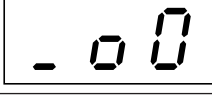

インターネット設定ファイルはバックアップ(44 ページ)をとっておくことをおすすめします。

# 無線 LAN の電波強度を表示する (USB 無線 LAN アダプターをお使いの場合)

USB 無線 LAN アダプターをお使いになる場合 (34 ページの接続例 4) は、以下の方法で電波強度をディスプレイに表示させることができます。

ピージーエム ボタンを押しながら ムービング キー [MOVING KEY] ボタンを押します。  
⇒ ディスプレイに電波強度が約 3 秒間表示されます。

## < 電波強度の表示パターン >

電波状態	ディスプレイ
電波が届いていない	
電波強度 弱	
電波強度 中	
電波強度 強	
無線 LAN が使われていない	

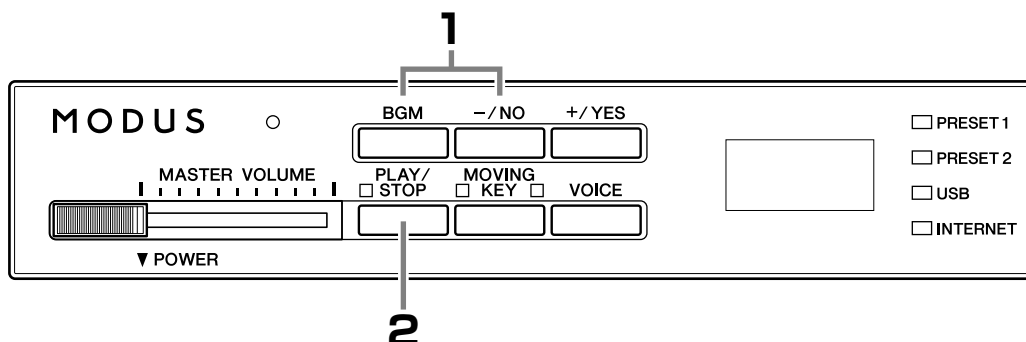
電波強度はインターネットへの接続後、表示させることができます。

無線LANイーサネットコンバーターをお使いの場合は、「無線 LAN が使われていない」の表示になります。

## ■ 接続情報ファイルを書き出す

現在の接続情報の詳細をテキストファイルとして USB フラッシュメモリーに書き出します。書き出した情報はコンピューター上で見ることができます。

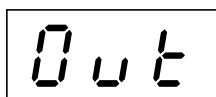
接続情報ファイルを使ってインターネット設定 (36 ページ) をすることはできません。接続情報ファイルは閲覧のみ可能です。



### 操作

#### 1 書き出しモードに入る

USB フラッシュメモリーが楽器に接続されているのを確認してから、ビジーエム [BGM] ボタンを押しながら [ - /NO ] ボタンを押します。



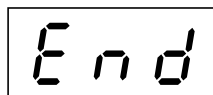
- ❗ 書き出しを中止する場合は、操作2 で プレイ/ストップ [PLAY/STOP] ボタンを押す前に [PLAY/STOP]、[ - /NO]、および [ + /YES ] ボタン以外のボタンを押します。

#### 2 書き出しをスタートする

プレイ/ストップ [PLAY/STOP] ボタンを押します。

USB フラッシュメモリーに同じ名前のファイルがある場合には、ディスプレイに「n-y」が表示されます。上書きをする場合には、イエス [ + /YES ] ボタンを押してください。書き出しを中止する場合には、[ - /NO ] ボタンを押してください。

- ⇒ USB フラッシュメモリーへの書き出しが完了すると、ディスプレイに「End」が表示されます。「End」表示を消すには、いずれかのボタンを押します。



書き出しが完了したあと、USB フラッシュメモリーをコンピューターに接続して、「ConnectionInfo.txt」という名前のファイルを開くと接続情報の詳細が表示されます。

BGM 再生中 (13 ページ) は、書き出しモードには入れません。

書き出しが正常に完了しなかった場合は、ディスプレイに「Err」とエラーコードが交互に表示されます。

#### エラーコード

エラーコードの内容については、インターネット上のウェブページ <http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/net/> で、ご確認ください。

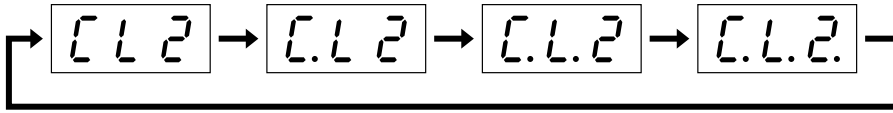
# インターネット設定を初期化する

ビジーエム

プレイ/ストップ

[BGM] ボタンと [PLAY/STOP] ボタンを押しながら、楽器の電源をオンにすると、インターネット設定が初期化されます。

(初期化中の表示)



初期化中は電源を切らないでください。初期化が実行されません。



初期化を実行すると、インターネット設定で行なったすべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。初期化を行なう前にインターネット設定のバックアップをとっておくことをおすすめします。

バックアップの方法は「USBフラッシュメモリーにバックアップする」(45 ページ)をご覧ください。

インターネットダイレクト接続機能のインターネット設定は、「内部メモリーを初期化する」(44 ページ)では初期化されません。

ストリーミングチャンネル情報、クッキー (Cookie) もあわせて初期化されます。

## インターネット 初期設定一覧

DHCP	使用する
無線 LAN	設定なし
プロキシサーバー	設定なし



# インターネット用語集

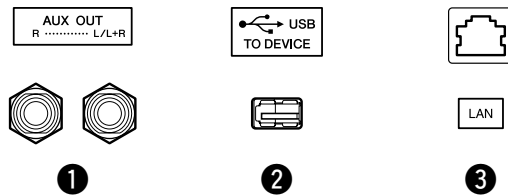
アクセスポイント	無線 LAN で電波のやりとりを行なうときの基地局となる機器。無線 LAN を有線 LAN につなぐ役割も持つ。
インターネット	コンピューター間の通信規格にもとづいて、世界中のコンピューターや携帯電話などを接続した、巨大なネットワークのこと。
ウェブページ	サイトを構成する各ページのこと。
クッキー (Cookie)	ユーザーがウェブページとの間でやりとりした内容を記憶するしくみ。以前訪れたウェブページで、そのときに入力した内容があらかじめ表示されるのはこのしくみによるもの。
サイト	正式には「ウェブサイト」という。ひとまとまりに公開されているウェブページ群。たとえば、「http://www.yamaha.co.jp/」で始まるウェブページを「ヤマハのサイト」と呼ぶ。
サーバー	ある特定のサービスを提供するシステムやコンピューターのこと。
ストリーミング	音声などのデータを受信しながら再生する方式のこと。データのファイル保存はできないが、何回でも呼び出すことができる。
ブラウザ	ウェブページを閲覧するためのソフトウェア。この楽器では、ウェブページの内容を表示する画面のこと。
プロキシ	LAN(内部のネットワーク)とインターネット(外部のネットワーク)の境にあって、直接インターネットに接続できない内部ネットワークのコンピューターに代わって、「代理」としてインターネットとの接続を行なうコンピューターのこと。内部ネットワークを外部からの不正アクセスから守ったりするのに使われる。
ブロードバンド	大容量のデータを高速に通信できるインターネット接続サービスのこと。ADSL、光ファイバーなどがある。
プロバイダー	インターネット接続サービスを提供する通信事業者。インターネットに接続するには、プロバイダーと契約する必要がある。
ホームページ	ブラウザ起動時(インターネット機能に入ったとき)に最初に表示されるウェブページのこと。または、ウェブサイトのトップページのことを指すこともある。
無線 LAN	ケーブルを使わず、無線通信でデータの送受信をする LAN のこと。
無線 LAN イーサネットコンバーター	LAN 端子を搭載したデジタル家電、プリンター、ゲーム機などを簡単に無線化するための機器。
モデム	一般の電話回線とコンピューターをつなぐための装置。コンピューターから送られてくるデジタル信号を、電話回線に流す音声信号に変換したり、電話回線を通じて聞こえてくる音声信号をデジタルデータに変換したりする。
リンク	ウェブページ上のボタンや文字列に埋め込まれたほかの文章や画像などの位置情報のこと。リンクのある場所をクリックするとリンク先へジャンプする。
ルーター	異なるネットワーク同士を相互接続するための機器。たとえば家庭などで複数のコンピューターを同時にインターネットに接続して、それぞれに異なるはたらきをさせたい場合に必要となる。一般的にはモデムとコンピューターの間に接続するが、モデム自体にルーター機能が内蔵されているものもある。
DHCP	インターネットに接続するたびに、コンピューターに IP アドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てるための規格。
IP アドレス	ネットワークに接続されたコンピューター1台1台に割り振られた、ネットワーク上の所在を示す識別番号。

LAN	同じ建物の中にあるコンピューター同士を専用のケーブルで接続し、データをやり取りするネットワーク。 Local Area Network の略。
SSL	インターネット上で情報を暗号化して送受信する通信規格。プライバシーに関わる情報がもれるのを防ぐ。
URL	インターネット上に存在するウェブページの場所を指し示す文字列。通常は、「http://」で始まる。
WEP	無線 LAN 時の暗号化技術。無線 LAN のアクセスポイントと端末に共通の暗号キーを設定することで、データを暗号化し、第三者による傍受を防ぐ。

# 外部機器との接続

## ■ 端子について

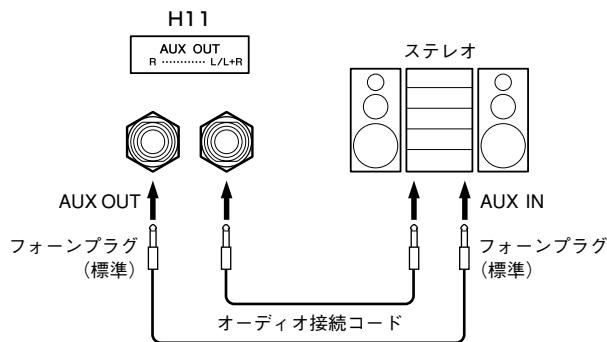
- ❗ 外部のオーディオ機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。



### ① エーユーエックスアウト AUX OUT [L/L+R] [R] 端子

H11 をステレオなどに接続してより大きな音を出したり、カセットテープレコーダーに接続して演奏を録音したりできます。オーディオ接続コードを使って図のように接続します。

- ❗ H11のAUX OUTを使う場合、電源を入れるときはH11→外部オーディオ機器の順に、電源を切るときは、外部オーディオ機器→H11の順に行なってください。



### ② ユーエスピー USB [TO DEVICE] 端子

USB フラッシュメモリーを接続する端子です。  
詳しくは22ページの「USB ユーエスピー 記憶装置の取り扱いについて」をご覧ください。

### ③ [LAN] 端子

楽器を直接インターネットに接続して、曲をストリーミングできます。接続の仕方については、33ページを参照してください。

- ⊘ [LAN] 端子とコンピューターを直接つないでも動作しませんので、コンピューターとは接続しないでください。

オーディオ接続コード及び変換プラグは抵抗のないものをお使いください。

モノ出力には、AUX OUT[L/L+R] 端子をご使用ください。

# データのバックアップ

## ■ 内部メモリーにバックアップする

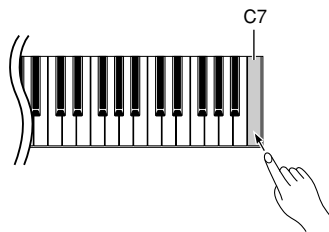
一部のデータは、本体内部のメモリーに保存されます。電源を切っても消えずに残ります。

### ■ バックアップ対象のデータ

- ・ BGM モード
- ・ 自動演奏鍵盤のオン / オフ
- ・ 音の高さ (チューニング)
- ・ 文字種
- ・ インターネット設定
- ・ ストリーミングチャンネル情報
- ・ Cookie
- ・ オートリボイスのオン / オフ

## ■ 内部メモリーを初期化する

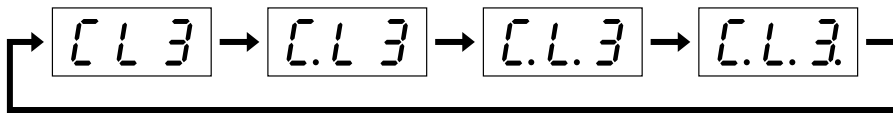
いったん電源をオフにし、右端の鍵盤 (C7) を押しながら電源をオンにします。この操作でいつでも初期設定に戻すことができます。



インターネットの設定を初期設定に戻すには、「インターネット設定を初期化する」(40 ページ) を参照してください。

文字種の設定は初期化されませんので、文字種の設定 (20 ページ) を変えてください。

(初期化中の表示)



初期化中は電源を切らないでください。初期化が実行されません。



初期化を実行すると、楽器の設定が工場出荷時の状態に戻ります。初期化を行なう前に設定のバックアップをとっておくことをおすすめします。  
バックアップの方法は「USBフラッシュメモリーにバックアップする」(45 ページ) をご覧ください。

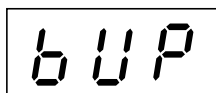
# USB フラッシュメモリーにバックアップする

内部メモリーに保存したデータ [「内部メモリーにバックアップする」(44 ページ)、音色の設定 (30 ページ)] の万一の事故に備えて、大切なデータは USB フラッシュメモリーにバックアップとして保存することをおすすめします。

## 操作

### 1 バックアップモードに入る

USB フラッシュメモリーが楽器に接続されているのを確認してから、<sup>ビジーエム</sup>[BGM] ボタンを押しながら、<sup>ボイス</sup>[VOICE] ボタンを押します。



- ⓘ バックアップを中止する場合は、操作2で [PLAY/STOP] ボタンを押す前に [PLAY/STOP]、[-/NO]、および [+ /YES] ボタン以外のボタンを押しません。

### 2 バックアップをスタートする

<sup>プレイ/ストップ</sup>[PLAY/STOP] ボタンを押します。

USB フラッシュメモリーに同じ名前のファイルがある場合には、ディスプレイに「n-y」が表示されます。上書きをする場合には、<sup>イエス</sup>[+ /YES] ボタンを押してください。上書きをしない場合には、[- /NO] ボタンを押してください。バックアップが完了すると、ディスプレイに「End」が表示されます。

### 3 バックアップモードを抜ける

<sup>ノー</sup>[- /NO] または <sup>イエス</sup>[+ /YES] を押します。

BGM再生中はバックアップモードに入れません。

バックアップ対象のうち、BGMモードはUSBフラッシュメモリーには保存されません。

バックアップしたデータは、「H11.bup」です。

# データをリストアする

USB フラッシュメモリーに保存したデータを本体にリストア (復帰) します。

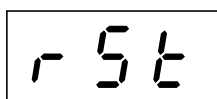
## 操作

### 1 バックアップモードに入る

リストアしたいデータの入った USB フラッシュメモリーが楽器に接続されているのを確認してから、**[BGM]** ボタンを押しながら、**[VOICE]** ボタンを押します。

### 2 リストアモードに切り替える

**[+ /YES]** ボタンを押します。



❗ リストアを中止する場合は、操作3で **[PLAY/STOP]** ボタンを押す前に **[PLAY/STOP]**、**[- /NO]**、および **[+ /YES]** ボタン以外のボタンを押します。

### 3 リストアをスタートする

**[PLAY/STOP]** ボタンを押します。

リストアが完了すると、ディスプレイに「End」が表示されます。

### 4 リストアモードを抜ける

**[- /NO]** または **[+ /YES]** を押します。

# 困ったときは

現象	考えられる原因	解決法
H11 の電源が入らない。	電源プラグが差し込まれていません(本体側と家庭用コンセント側)。	電源プラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください(15 ページ)。
<small>パワー</small> [POWER]スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」と音がする。	電気が流れたためです。	異常ではありません。
H11 から雑音が出る。	H11 の近くで携帯電話を使っています(または呼び出し音が鳴っています)。	H11 の近くでは、携帯電話の電源を切ってください。H11 の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	<small>マスターボリューム</small> [MASTER VOLUME] スライダーが下がっています。	[MASTER VOLUME] スライダーを上げてください(15 ページ)。
	ヘッドフォンを接続しています(16 ページ)。	ヘッドフォンのプラグを抜いてください。
自動に鍵盤が動かない。	<small>ムービングキー</small> [MOVING KEY] ボタンがオフになっています。	[MOVING KEY] ボタンをオンにしてください(19 ページ)。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしております。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。	異常ではありません。
鍵盤が動くとき、機構音がカタカタ鳴る。	H11 の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。	異常ではありません。
USB フラッシュメモリーがフリーズする。	動作確認されていない USB フラッシュメモリーです。	動作確認されている USB フラッシュメモリー以外は動作しない可能性があります。動作確認済みの USB フラッシュメモリーをご使用ください(22 ページ)。
	USB フラッシュメモリーの動作が不安定になっています。	USB フラッシュメモリーをいったん外してから、接続し直してください。
鍵盤下のカバーが温かくなる。	使用中に熱を発生することがあります。	異常ではありません。

# ピアノリスニングソング (Classic&Jazz) 50 曲一覧

## [PRESET 1](Classic)

ソング No.	シーン No. シーンタイトル ソング名 (作曲者)	シーン No.												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		ホームパーティ	目覚め	喜び	優雅	くつろぎ	おやすみ	哀しみ	ロマンス	メルヘン	バロック古典	ロマン派前期	ロマン派後期	フランス近代
1	ソナタ K.380, L.23 (D. スカルラッチィ)		1								1			
2	ゴルトベルク変奏曲 アリア BWV.988 (J.S. バッハ)					1	1				2			
3	ピアノ ソナタ 第 5 番 第 1 楽章 K.283 (W. A. モーツァルト)			2	1						3			
4	ピアノ ソナタ 第 12 番 第 1 楽章 K.332 (W. A. モーツァルト)	1	3	2							4			
5	ピアノ ソナタ 第 14 番 「月光」 第 1 楽章 op.27-2 (L. v. ベートーヴェン)	2						1			5			
6	春の歌 op.62-6 (F. メンデルスゾーン)	3			1						6			
7	練習曲 「別れの曲」 op.10-3 (F. F. ショパン)	4						2	1			1		
8	練習曲 「エオリアン ハープ」 op.25-1 (F. F. ショパン)	5		3						2		2		
9	ワルツ 第 7 番 op.64-2 (F. F. ショパン)							3				3		
10	ワルツ 第 10 番 op.69-2 (F. F. ショパン)							4				4		
11	夜想曲 第 1 番 op.9-1 (F. F. ショパン)							5	3			5		
12	夜想曲 第 2 番 op.9-2 (F. F. ショパン)	6			2	2			4			6		
13	子供の情景 トロイメライ op.15-7 (R. シューマン)	7				3	2			1	7			
14	コンソレーション 第 3 番 (F. リスト)					4			5				1	
15	へ調のメロディ op.3-1 (A. ルビンシュテイン)	8			3								2	
16	ユモレスク op.101-7 (A. ドヴォルジャーク)	9			4					2			3	
17	抒情小品集 第 1 集 アリエッタ op.12-1 (E. H. グリーグ)	10				5	3			3			4	
18	無言歌 op.17-3 (G. フォーレ)				5									1
19	愛のあいさつ op.12 (E. エルガー)	11	4	4	6								5	
20	森のスケッチ 野ばらに寄す op.51-1 (E. A. マクダウェル)					6	4			4			6	
21	スペイン タンゴ op.165-2 (I. アルベニス)	12		5	7								7	
22	亜麻色の髪の乙女 (C. A. ドビュッシー)	13				7	5							2
23	アラバスク 第 1 番 (C. A. ドビュッシー)	14				8								3
24	月の光 (C. A. ドビュッシー)	15					8							4
25	夢想 (C. A. ドビュッシー)						9	6						5
26	ジムノペディ 第 1 番 (E. サティ)						10	7						6
27	ジュトウヴ (E. サティ)	16		6	9									7
28	亡き王女のためのパヴァーヌ (M. ラヴェル)	17					11	6						8
29	クーブランの墓 メヌエット (M. ラヴェル)	18					12							9
30	ボロディン風に (M. ラヴェル)					10								10

- ・ シーンタイトルの下の数字は、各シーンでの曲順を示します。
- ・ 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。



## [PRESET 2](Jazz 曲)

ソング No.	シーン No.  シーンタイトル  ソング名 (作曲者)	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
		ホームパーティ	デイタイム	アフターヌーン	イブニング	ナイトタイム	エレガント	アップビート	バラード	イノセント	ロマンス
1	Alfie (B. Bacharach) *	1		1						1	
2	Besame Mucho (C. Velazquez) *				1				1		1
3	Bewitched (R. Rodgers)			2			1		2		2
4	Emily (J. Mandel) *	2	1	3				1		2	
5	Hey Jude (J. Lennon & P. McCartney) *	3	2						3		
6	How Deep Is the Ocean (I. Berlin) *				2			2			
7	I Didn't Know What Time It Was (R. Rodgers) *		3		3			3			
8	If I Should Lose You (L. Robin & R. Rainger)				4			4			
9	It Might As Well Be Spring (R. Rodgers) *	4	4	4				5		3	
10	It Never Entered My Mind (R. Rodgers)				5		2		4		
11	Mona Lisa (J. Livingston & R. Evans) *	5		5	6	1	3		5	4	3
12	My Funny Valentine (R. Rodgers) *					2					4
13	Never Let Me Go (J. Livingston & R. Evans) *					3			6		5
14	Norwegian Wood (J. Lennon & P. McCartney) *	6		6					7	5	
15	On Green Dolphin Street (N. Washington & B. Kaper) *	7	5					6			
16	Over the Rainbow (H. Arlen) *	8				4	4		8	6	
17	Smoke Gets in Your Eyes (J. Kern) *	9			7	5	5		9		
18	Stella by Starlight (V. Young) *	10	6		8	6		7			
19	The Nearness of You (H. Carmichael) *	11			9	7	6		10		6
20	You Are Too Beautiful (R. Rodgers)			7	10		7				7

\* 演奏: 福田重男

- ・ シーンタイトルの下の数字は、各シーンでの曲順を示します。
- ・ 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。


# 初期設定一覧

初期設定 (=初めて電源を入れたときの設定) を一覧にしました。

項目	初期設定値
BGM モード	オフ
自動演奏鍵盤オン/ オフ	オン
自動演奏鍵盤の対象パート (チャンネル) 設定	自動で判別する
オートソングリボイス	オン
音色選択	グランドピアノ1
デュアル機能	オフ
タッチ感	ミディアム
トランスポーズ	0
音の高さ (チューニング)	440.0Hz

# メッセージ一覧

メッセージ*			メッセージ内容
0	0	1	USB フラッシュメモリー、またはメディアにアクセスできません。 このエラーメッセージが繰り返し表示される場合は、 → 別の USB フラッシュメモリー、またはメディアをお使いください。
0	0	2	ソング(曲データ)を正常に読み取れません。 不正なフォーマットです。 → ファイルのフォーマットを確認してください。
0	0	4	ソング(曲データ)が大きすぎて読み込めません。 プロテクトのかかったソング(曲データ)が読み取れません。
0	0	5	USB フラッシュメモリー、またはメディアがフォーマットされていません。 → お使いのコンピューターで必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。
0	0	6	プロテクトのかかったソング(曲データ)が読み取れません。
0	0	7	ソング(曲データ)がありません。 ファイルがありません。
0	0	8	USB フラッシュメモリー、またはメディアが接続されていません。 → USB フラッシュメモリー、またはメディアを接続してください。
0	1	0	本体内部メモリーに保存できませんでした。
0	1	1	USB フラッシュメモリーのデータをリストア(復帰)できませんでした。 → [PLAY/STOP] ボタンを押して、再起動してください。
0	2	0	この USB フラッシュメモリーは、この楽器で使えません。 → 動作確認済の USB フラッシュメモリーをお使いください。
0	2	2	接続できる USB フラッシュメモリー、またはハブの数が制限を越えました。 → 「USB 記憶装置の取り扱いについて」をお読みください。
0	2	3	USB フラッシュメモリー、またはメディアの接続に失敗しました。
0	5	1	自動演奏鍵盤ユニットに問題があります。[MOVING KEY] ステータスランプが赤く点灯します。 → お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。
0	5	2	自動演奏鍵盤ユニットの温度が上がっています。[MOVING KEY] ステータスランプが赤く点滅します。 → 自動復帰します。
-	-	-	処理中です。
C	L	1	音色の設定を初期設定(電源を入れたときの設定)に戻しています。
C	L	2	インターネット設定を初期設定に戻しています。
C	L	3	初期設定に戻しています。
E	5	0	自動演奏鍵盤ユニットの電源に異常が発生しました。[MOVING KEY] ステータスランプが赤く点灯します。 → 楽器の電源を切り、プラグを抜いてください。ただし、[USB] ランプが点滅している場合は、ランプが消えてから電源を切ってください。お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。
E	n	d	処理が終わりました。

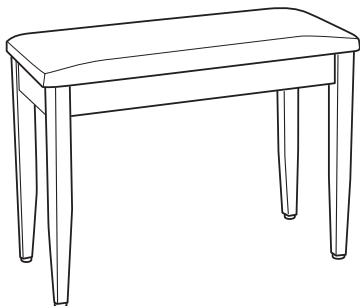
メッセージ*			メッセージ内容
F	C	L	処理中に電源を切ったので、本体内部メモリーが初期化されました。内部メモリーに保存したデータ、音色の設定が消去されています。  「FCL」が表示されているときに電源を切らないでください。「FCL」が表示されているときに電源を切ると、楽器の動作が不安定になるおそれがあります。
F	U	L	ファイルやフォルダーの数が制限を越えました。 本体内部メモリーに残容量がありません。 メディアのメモリーに残容量がありません。
n	-	y	ファイルを上書きしますか？
P	r	o	メディアにライトプロテクトがかかっています。

\*メッセージが3桁の数字(001～052)の場合、メッセージは「Err」と交互に表示されます。

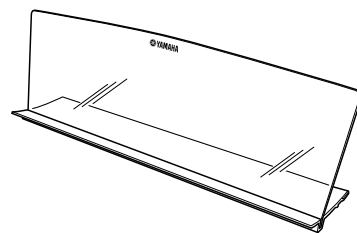
\*処理中を表すメッセージ(---)は、「-」→「--」→「---」→「-」…と表示されます。

## 別売品の紹介

専用イス BC-103S



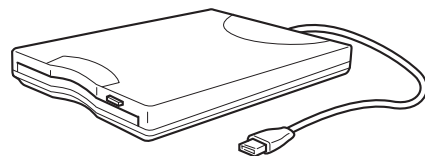
譜面板 YMR-01



ヘッドフォン HPE-160



フロッピーディスクドライブ UD-FD01



フロッピーディスクを使うと、ディスク内のデータを本体に読み込むことができます。

# 仕様

鍵盤	ナチュラルウッド (NW) 鍵盤 象牙調仕上げ(ホワイト) (白鍵に木材を使用)	
鍵盤数	88	
自動演奏鍵盤	○	
音源	AWM ダイナミックステレオサンプリング	
最大同時発音数	128	
音色数	10 ソング再生用：480 XG ボイス、13 ドラム/SFX キット、GM2、GS	
効果	リバーブ	
コントロール	デュアル、トランスポーズ、 タッチ (ハード/ミディアム/ソフト/フィクスト)、チューニング	
ペダル	ダンパー (ハーフペダル対応)、ソステヌート、ソフト	
デモ	ピアノリスニングソング (Classic&Jazz) 50 曲 (プリセットソング)	
インターネットダイレクト接続	LAN 端子使用、無線 LAN イーサネットコンバーター ([LAN] 端子使用)、 USB-LAN アダプター (USB [TO DEVICE] 端子使用)	
記憶媒体 デバイス	フラッシュメモリー (内蔵)	約 2MB
	USB フラッシュメモリー	接続可 (USB [TO DEVICE] 端子使用)
	フロッピーディスク (2HD, 2DD)	USB タイプフロッピーディスクドライブ接続可 (USB [TO DEVICE] 端子使用)
	ハードディスク	USB タイプハードディスク接続可 (USB [TO DEVICE] 端子使用)
	メモリーカード (スマートメディアなど)	USB タイプメモリーカードリーダー接続可 (USB [TO DEVICE] 端子使用)
付属端子	PHONES 端子 × 2、AUX OUT [L/L+R] [R] 端子、 USB [TO DEVICE] 端子、LAN 端子	
メインアンプ	(16W + 12W + 12W) × 2	
スピーカー	楕円 (13cm × 6cm) × 2、(16cm + 2.5cm) × 2	
定格電源	AC 100V, 50/60Hz	
消費電力	75W	
寸法 [間口×奥行×高さ] (屋根を上げた場合)	1,461mm × 755mm × 761mm (1,487mm × 765mm × 1,200mm)	
質量	98kg	
付属品	保証書、取扱説明書 (本書)、クイックオペレーションガイド (別冊)、 電源コード、ユーザー登録のご案内	

・仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

# 組み立て

## 注意

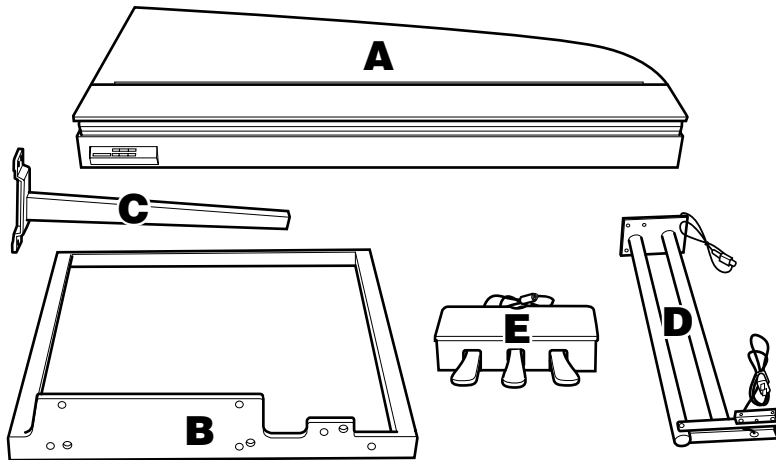
- ❗ 部品を間違えたり、向きを間違えないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
- ❗ 組み立ては、必ず2人以上で行なってください。
- ⊘ ネジは付属の指定サイズ以外のもは使用しないでください。サイズが違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因となることがあります。

- ❗ ネジは各部品の固定後、ゆるみがないようきつく締め直してください。
- ❗ 分解するときには、組み立てと逆の手順で行なってください。

プラス(+)のドライバーを用意してください。

すべての部品を箱から取り出し、下記の部品がそろっていることを確認してください。

- ❗ 本体を床に置くと手を挟まないように注意してください。



長いネジ(6×30mm) ×4



短いネジ(6×20mm) ×10



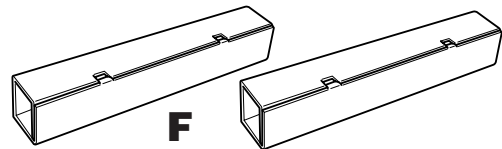
小さいネジ(4×6mm) ×6



コードホルダー ×4

コードホルダーは、必要に応じてLANケーブルの固定に使用する

組立てを始める前に、ペダルコードと電源コードを束ねているビニールのヒモをほどく

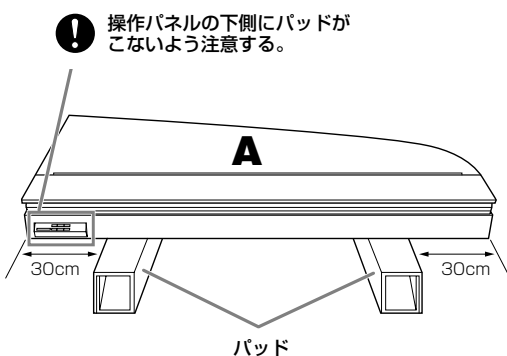


梱包箱から長方形(800×130mm)の패드2個を取り出す

## 1. Aを패드の上に乗せる。

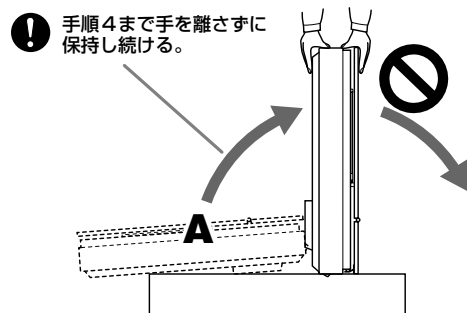
1-1 Aの左右から30cm程度内側の位置に、2つの패드(F)を置く。

1-2 Aを持ち上げ、패드の上に乗せる。



## 2. Aを垂直に立てる。

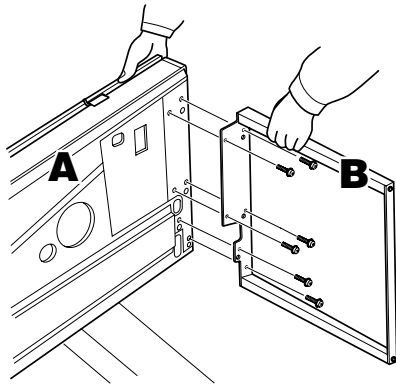
2-1 鍵盤側を下にしてAを垂直に立て、しっかりと保持する。



⊘ 屋根とキーカバーに負担がかからないように、90°以上傾けない。

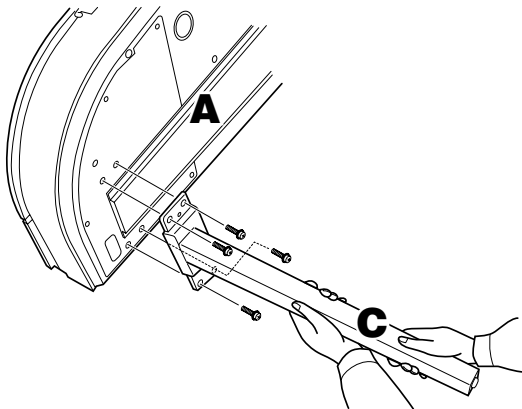
### 3. Bを取り付ける。

- 3-1 ネジ穴があうようにAにBを合わせ、そのまま保持する。
- 3-2 短いネジ(6×20mm) 6本を、上側から順番に仮留めする。
- 3-3 仮留めが終わったら、すべてのネジを本締めする。



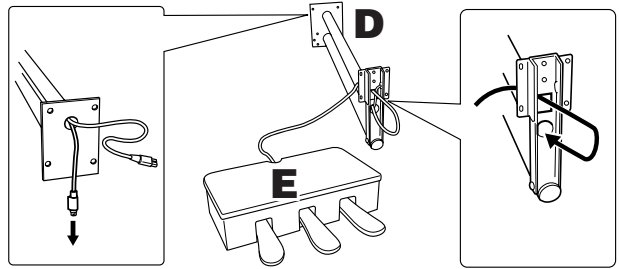
### 4. Cを取り付ける。

- 4-1 ネジ穴があうようにAにCを合わせ、そのまま保持する。
- 4-2 短いネジ(6×20mm) 4本を上側から順番に仮留めする。
- 4-3 仮留めが終わったら、すべてのネジを本締めする。



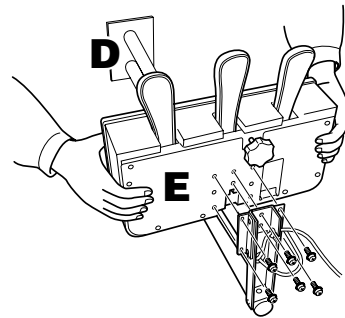
### 5. ペダルを組み立てる。

- 5-1 ペダルコードをDに通す。



- 5-2 EをDの底面に当てつけ、小さいネジ(4×6mm)6本で締め付ける。このとき中央の2本を先に締めてください。

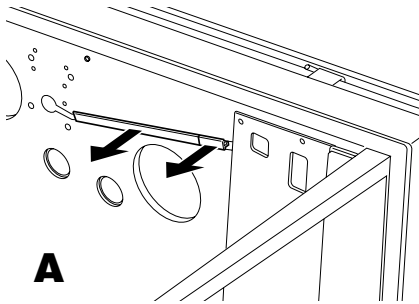
- 5-3 D内部でペダルコードがたるまないように引っ張る。



- ❗ Eが滑り落ちないようにしっかりと押さえつける。

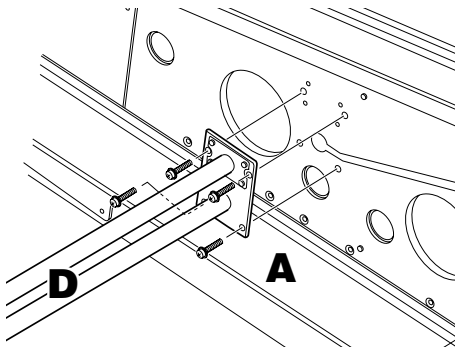
## 6. ペダルを取り付ける。

6-1 A裏面の溝に取り付けられたカバーを取り外す。



6-2 D上面から伸びるペダルコードと電源コードをA裏面の溝に合わせる。

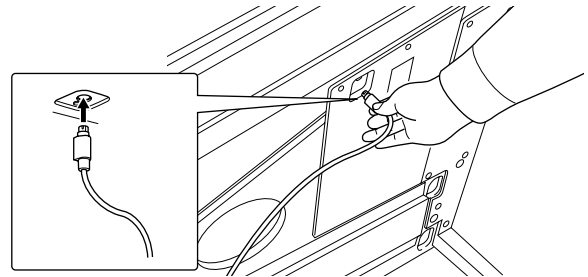
6-3 ネジ穴が合うようにDの位置を合わせ、長いネジ (6×30mm) 4本で取り付ける。



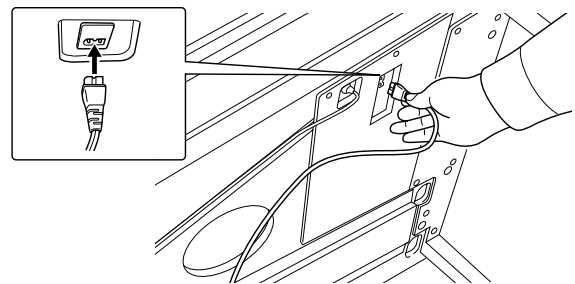
**!** 隙間にコードを挟まないよう注意する。

## 7. コードを接続する。

7-1 コネクタの向きに注意しながら、ペダルコードを接続する。

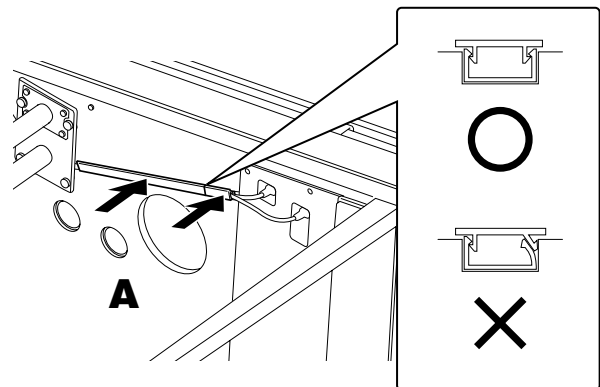


7-2 コネクタの向きに注意しながら、電源コードを接続する。



## 8. A裏面の溝にカバーをはめ込む。

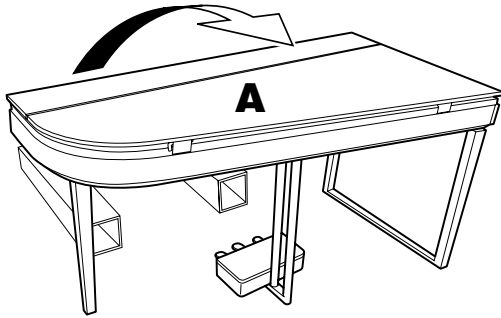
8-1 溝にコードを入れ込みながら、カバーをはめ込む。





## 9. Aを起こす。

9-1 Aの底面を持ち上げて、Aを起こす。



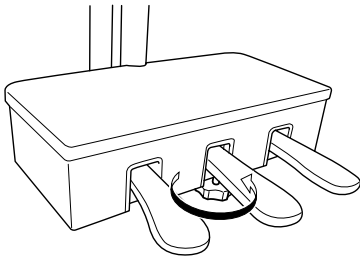
操作パネル部分は持たない。



足の上に本体を落とさないよう注意してください。

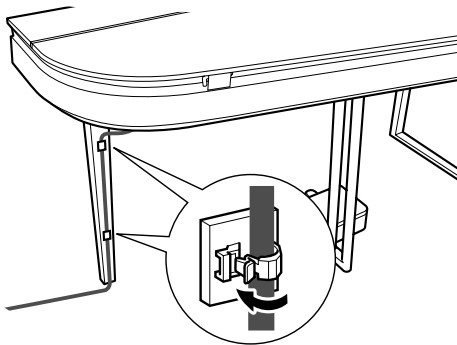
## 10. アジャスターを回す。

10-1 アジャスターを回して、床にぴったりつける。



### コードホルダーを使って、LANケーブルを固定します。

コードホルダーを脚などに貼り付け、LANケーブルをホルダーにはさみ込みます。



組み立て後は必ず以下をチェックしてください。

- ・ 部品が余っていませんか？  
→組み立て手順を再確認してください。
- ・ 部屋のドアなどがこの楽器にあたりませんか？  
→この楽器を移動してください。
- ・ この楽器がぐらぐらしませんか？  
→ネジを確実に締めてください。
- ・ ペダルを踏むと、ペダルボックスがガタガタしませんか？  
→アジャスターを回して床にぴったりつけてください。
- ・ ペダルコード、電源コードのプラグが、確実に本体に差し込まれていますか？  
→確認してください。



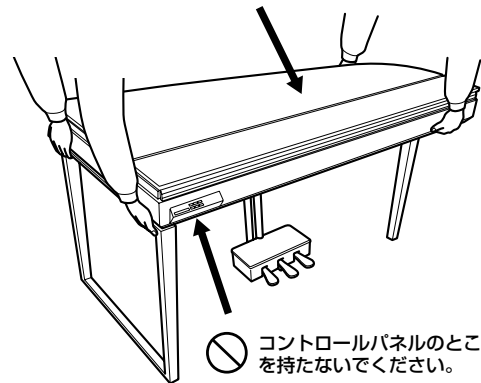
使用中に本体がきしむ、横ゆれする、ぐらぐらするなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。



組み立て後、本体を移動するときは、必ず本体の底面を持ってください。特に左側のコントロールパネルを持たないでください。



キーカバーまたは屋根を持たないでください。



コントロールパネルのところを持たないでください。



足の上に本体を落とさないよう注意してください。

# 索引

## 数字・ABC順

### Numerics

2音色の音量バランス(デュアル) ..... 29

### A

ALL(ディスプレイ表示) ..... 17, 20

AWMダイナミックステレオサンプリング ..... 8

### B

BGM オフモード ..... 13

BGMモード ..... 13

### I

[INTERNET] ..... 13, 25

### M

Muma ..... 21

### P

[PRESET 1] ..... 13, 17

[PRESET 2] ..... 13, 17

### R

rnd(ディスプレイ表示) ..... 17, 20

### S

SMFフォーマット ..... 21

Sxx(ディスプレイ表示) ..... 17

### U

[USB] ..... 13, 20

USB 記憶装置 ..... 22

## あいうえお順

### い

インターネット設定 ..... 36

インターネットダイレクト接続機能 ..... 8, 33

### お

オクターブシフト(デュアル) ..... 29

音色一覧 ..... 27

音色の設定 ..... 30

音量(ボリューム) ..... 15

### く

クイックオペレーションガイド ..... 6

組み立て ..... 54

### し

シーン ..... 18

自動演奏鍵盤 ..... 8, 13, 19

仕様 ..... 53

初期化(内部メモリー) ..... 44

初期化(メディア) ..... 24

初期設定 ..... 19, 20

初期設定一覧 ..... 50

### す

ストリーミング ..... 25, 33

### そ

ソングオートリボイス ..... 26

### た

第2音色のリバーブの深さ ..... 30

タッチ ..... 32

### ち

チャンネル(インターネット) ..... 25

チューニング ..... 32

### て

ディスプレイ ..... 11

データのバックアップ ..... 44

データフォーマット ..... 21

デュアル ..... 29

電源 ..... 15

電波強度 ..... 38

### と

トランスポーズ ..... 31

### な

ナチュラルウッド(NW)鍵盤 ..... 8

<b>は</b>	
バージョン .....	16
パート(自動演奏鍵盤) .....	19
バックアップ .....	44, 45
<b>ひ</b>	
ピアノ リスニング ソング(Classic&Jazz) 50曲 ...	17
ピアノリスニングソング (Classic&Jazz) 50 曲一覧 .....	48
<b>ふ</b>	
付属品 .....	7
譜面板 .....	16
フロッピーディスク .....	23
フロッピーディスクドライブ .....	23
<b>へ</b>	
ペダル .....	28
ヘッドフォン .....	16
<b>め</b>	
メッセージ一覧 .....	51
<b>も</b>	
モード .....	29
文字種 .....	20
<b>ら</b>	
ランダム再生 .....	17
<b>り</b>	
リストア .....	46
リバーブ .....	31

下記は、この楽器に入っているピアノ リスニング ソング (Classic&Jazz) 50 曲のうちの 17 曲の題名、作者名、著作権情報です。

**Alfie**

Theme from the Paramount Picture ALFIE  
Words by Hal David  
Music by Burt Bacharach  
Copyright© 1966 (Renewed 1994) by Famous Music LLC  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**B\_same Mucho (Kiss Me Much)**

Music and Spanish Words by Consuelo Velazquez  
English Words by Sunny Skylar  
Copyright© 1941, 1943 by Promotora Hispano Americana de Musica,  
S.A.  
Copyrights Renewed  
All Rights Administered by Peer International Corporation  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**Bewitched**

from PAL JOEY  
Words by Lorenz Hart  
Music by Richard Rodgers  
Copyright© 1941 (Renewed) by Chappell & Co.  
Rights for the Extended Renewal Term in the U.S. Controlled by Will-  
iamson Music and WB Music Corp. o/b/o The Estate Of Lorenz Hart  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**Hey Jude**

Words and Music by John Lennon and Paul McCartney  
Copyright© 1968 Sony/ATV Songs LLC  
Copyright Renewed  
All Rights Administered by Sony/ATV Music Publishing, 8 Music  
Square West, Nashville, TN 37203  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**How Deep Is The Ocean (How High Is The Sky)**

Words and Music by Irving Berlin  
Copyright© 1932 by Irving Berlin  
Copyright Renewed  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**I Didn't Know What Time It Was**

from TOO MANY GIRLS  
Words by Lorenz Hart  
Music by Richard Rodgers  
Copyright© 1939 (Renewed) by Chappell & Co.  
Rights for the Extended Renewal Term in the U.S. Controlled by Will-  
iamson Music and WB Music Corp. o/b/o The Estate Of Lorenz Hart  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**If I Should Lose You**

from the Paramount Picture ROSE OF THE RANCHO  
Words and Music by Leo Robin and Ralph Rainger  
Copyright© 1935 (Renewed 1962) by Famous Music LLC  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**It Might As Well Be Spring**

from STATE FAIR  
Lyrics by Oscar Hammerstein II  
Music by Richard Rodgers  
Copyright© 1945 by WILLIAMSON MUSIC  
Copyright Renewed  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**It Never Entered My Mind**

from HIGHER AND HIGHER  
Words by Lorenz Hart  
Music by Richard Rodgers

Copyright© 1940 (Renewed) by Chappell & Co.  
Rights for the Extended Renewal Term in the U.S. Controlled by Will-  
iamson Music and WB Music Corp. o/b/o The Estate Of Lorenz Hart  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**Mona Lisa**

from the Paramount Picture CAPTAIN CAREY, U.S.A.  
Words and Music by Jay Livingston and Ray Evans  
Copyright© 1949 (Renewed 1976) by Famous Music LLC  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**My Funny Valentine**

from BABES IN ARMS  
Words by Lorenz Hart  
Music by Richard Rodgers  
Copyright© 1937 (Renewed) by Chappell & Co.  
Rights for the Extended Renewal Term in the U.S. Controlled by Will-  
iamson Music and WB Music Corp. o/b/o The Estate Of Lorenz Hart  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**The Nearness Of You**

from the Paramount Picture ROMANCE IN THE DARK  
Words by Ned Washington  
Music by Hoagy Carmichael  
Copyright© 1937, 1940 (Renewed 1964, 1967) by Famous Music LLC  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**Never Let Me Go**

from the Paramount Picture THE SCARLET HOUR  
Words and Music by Jay Livingston and Ray Evans  
Copyright© 1956 (Renewed 1984) by Famous Music LLC  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**Norwegian Wood (This Bird Has Flown)**

Words and Music by John Lennon and Paul McCartney  
Copyright© 1965 Sony/ATV Songs LLC  
Copyright Renewed  
All Rights Administered by Sony/ATV Music Publishing, 8 Music  
Square West, Nashville, TN 37203  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**Smoke Gets In Your Eyes**

from ROBERTA  
Words by Otto Harbach  
Music by Jerome Kern  
Copyright© 1933 UNIVERSAL - POLYGRAM INTERNATIONAL  
PUBLISHING, INC.  
Copyright Renewed  
All Rights Reserved Used by Permission

**Stella By Starlight**

from the Paramount Picture THE UNINVITED  
Words by Ned Washington  
Music by Victor Young  
Copyright© 1946 (Renewed 1973, 1974) by Famous Music LLC  
International Copyright Secured All Rights Reserved

**You Are Too Beautiful**

from HALLELUJAH, I'M A BUM  
Words by Lorenz Hart  
Music by Richard Rodgers  
Copyright© 1932 (Renewed) by Chappell & Co.  
Rights for the Extended Renewal Term in the U.S. Controlled by Will-  
iamson Music and WB Music Corp. o/b/o The Estate Of Lorenz Hart  
International Copyright Secured All Rights Reserved

下記は、この楽器に入っているピアノリスニングソング (Classic&Jazz) 50 曲のうちの 3 曲の題名、作者名、著作権情報です。

Composition Title : ON GREEN DOLPHIN STREET  
Composer's Name : Bronislaw Kaper0372642  
Owner's Name : EMI MUSIC PUBLISHING LTD

Composition Title : EMILY  
Composer's Name : Johnny Mandel0258202  
Owner's Name : EMI MUSIC PUBLISHING LTD

Composition Title : OVER THE RAINBOW  
Composer's Name : Harold Arlen0286708  
Owner's Name : EMI MUSIC PUBLISHING LTD

All Rights Reserved, Unauthorized copying, public performance and broadcasting are strictly prohibited.

MEMO

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

## ●保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## ●保証期間

お買い上げ日から1年間です。

## ●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

### 消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

## ●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## ●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ修理をお申し付けください。

## ●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

### (修理受付および修理品お持込み窓口)

#### ◆修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

##### ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00、  
土曜日 9:00～17:30  
(祝祭日および弊社休業日を除く)

ナビダイヤル  **0570-012-808**  
(全国共通番号)

※ 一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

(IP電話、携帯電話などからおかけになる場合 TEL 053-460-4830)

FAX (053)463-1127

#### ◆修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45  
(浜松サービスステーションは 8:45～17:30)  
(祝祭日および弊社休業日を除く)

\* お電話は、電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

#### 北海道サービスステーション

〒064-8543

札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内

FAX (011)512-6109

#### 首都圏サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX (03)5762-2125

#### 浜松サービスステーション

〒435-0016

浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内

FAX (053)462-9244

#### 名古屋サービスセンター

〒454-0058

名古屋市中区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX (052)652-0043

#### 大阪サービスセンター

〒564-0052

吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F

FAX (06)6330-5535

#### 九州サービスステーション

〒812-8508

福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX (092)472-2137

\* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

# ヤマハ株式会社

## 国内営業本部 ピアノ企画部 企画グループ

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL 03-5488-6795

## PA・DMI事業部

### EKBマーケティング部 CL・PKグループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

TEL 053-460-3275

## クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター

受付日:月曜日～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間:10:00～18:00(土曜日は10:00～17:00)

フリーダイヤル  **0120-834-808**

サポート:<http://www.yamaha.co.jp/support/>

## 電子ピアノ/キーボードのホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>

## ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

## あなたの音楽生活をフルサポート ミュージックイークラブ

<http://www.music-eclub.com/>

## お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

●名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。